

東洋書局

長編纂

天祐

藏

增補北海道要覽 前編

明治十八年五月出版

村尾氏藏

藏

序

望崑崙者人曰彼產玉可躋而採
此者言矣苟不示以生河洛之道
則聽者安得從其言邪故素未從
人曰此生珠之浩也揚赤水廣矣
苟不諭以昔河曲之途則聽者又
安得從其言邪故雖生珠玉之寶

物富所宜且由一道路為其法獲之
者之解美國家移民之術每然
之山川一向北自其地之某土
地沃壤地既瘠其山皆棄礦之產
某川之某漁之村運移或便或
吾非凡舉之其心一於勢國一書
之以示之于民則民安得志所從

且因之曰奮移住之志耶故未利
堅固之移殖人民用是法嘗撰一
書而頒之四方使觀者如目親其
境足蹈之也足曰言之民書之
形勢所以備躍殿之萬里社席波
濤世家于彼者陸路接陸署其每
如使亦做此將海上海道至其字

者以る願移住者に指針を事
來會使慶の德の被る村尾子之風
熟北海形勢適者此處を來宗の序
余亦其能継意はく意の善の移
此の要也則從之曰支少海は土
地肥沃物産豊富なる喜岨と云ふ殊
くの寶面と有け海以害其形勢

庶業此方より所經由往而獲る者
陸續接踵如彼末國移住し民也
子元曰くこの地は清の地自易遂
書為序明治甲申十月

金峽鈴木大亮撰



采鑛開道。其法既陳。則智
識可進。捕鯨射熊。其利
既獲。則勇氣可鼓。此編專
記北海十國。向化起業之事。
使讀者慨然有荷耒耜

冒艱險之概。簪者新井。
白石著蝦夷志曰。蝦夷據山
為國。地多險阻。僅通鳥道。
其幅負廣狹。不可得而詳。白
石學識卓絕。一代偉人。猶

且如此。以今視之。誰不笑其
陋。較之進智鼓勇。有功于世。
如此編者。果何如也。宋陳同
甫云。推倒一古智勇。開拓萬
古心胃。此可以評是冊。

明治庚辰夏日題于
霞樓之南軒

一六居士修



四

嗚呼いたつられたるかれこれの北海道要覽てふふみよ抑皇國の
人の昔より其心大らかにて都遠き鄙にすめる民等は只すへらき
のおほみれきてのまに／＼おのか手なれのことわざにのみ身を
打まけてあかし暮一つ、文字をよむことあるはもれをかそふる
すへなどにもうとかるれいつかど西のはてなる國國よりこち
たきみちれわたりきよりもの、さとりも日毎にひらけゆく世
に一なりぬれはあれまでのありさまならんよはその國々の人に
もあさみ笑はれぬへ一さるはいに一年あめりかの船のは一めて
わたりまる來一時に皇國の田ちから貢もれ、數はいかそかりあ

るそと問詰られ一人のいらすといたんもいとくちをーまやをも
ひけんた、れーはかりにこかねにて貳億ひらりりとあたへた
りとなん今の世に吾すめる村さとの聊のあとをとも大かたはあ
らすーて燈臺もと暗ーといへる諺ふあたらんはあかぬことそか
ーされは北海道の人はこの要覽てふふみを朝よひによみうかへ
て吾もーり子うま子等よもつたへつ、なほ皇國の島のさきー
山のくまーのあとをもーりつくとも乃、さどりの道ーるへ
となさんことこそあらまほーけれさて此ふみよ開拓使か萬つり
こつ公廨國郡民戸驛路陸路港灣といふもさらなり學校蠶室電信
郵便のあり所よりーて木草鳥獸蟲魚の類までもる、ことなく書

つめたりかくまていたつかれー誰そ函館の司人村尾ぬーか晝
はおはやけことよいそーめる勞れぬもいこはせーて夜はずから
に燈のもとに筆をとられーなりけりやつかれにも一わたりよ
てそのゆゑよーひとこととはしききせよとこはる、よいあゝかた
くておもひ出ることどもをあからさまにかくなん時ハ明治十三
年五月岡本長之いふ

增訂北海道要覽緒言

明治維新聖詔發蝦夷ヲ改メテ北海道ト爲シ開拓使ヲ置キ之ヲ管スル十有四年榛莽ヲ闢キ人民ヲ移シ道路ヲ通シ農桑ヲ振興シ漁獵ヲ勸奨シ採鑛工作運輸貿易ヨリ郵便電信教育衛生警備等凡計畫施設スル所ノモノ本道ノ開進ヲ助ケ將來ノ富饒ヲ謀ルニ非ルナシ是ニ於テ乎形勢一變復舊觀ヲ存セス明治十五年廢使置縣ノ更革アル所以ノモノ職トシテ是ニ此由ル然レモ拓地移民其ノ事業極メテ大ナリ素ヨリ僅々十有餘年ニシテ顯著ノ成績ヲ見ルベカラズ之ヲ行旅ニ譬フ

ルニ百里ノ道程漸十里ヲ經過スルガ如シ故ニ置縣ノ
令出ルヤ法律規則ノ從前北海道ニ施行セサルモノハ
當分ノ内仍ホ從前ノ通タルベシト布告アリ今ヤ三縣
地方政治ヲ内地府縣ニ比スト雖徵兵令ハ函館縣下ノ
一部分ニ實施スルニ止リ而シテ別ニ屯田兵アリ國稅
ノ賦課未全ク内地ト同一ナラズ其ノ他諸般ノ制度多
少ノ異同アルモノ少シトセス又轉籍移住者ノ保護地
所拂下ノ特典若クハ捕魚採藻ニ係ル資本金ノ貸與等
内地府縣ニ無クシテ特ニ本道三縣ニ施行スル法令恩
典アリ究竟スルニ民力未洽ラズ治ヲ内地ニ均フスル

二

能ハサルヲ以テナリ蓋本道十一國八十七郡周圍六
百七十二里面積六千九十五方里地味肥沃農耕牧培ニ
適シ殊ニ水産ノ多キ内國ニ冠絶ス國家將來ノ富饒ヲ
圖リ利源ヲ開クハ本道ノ開拓ニ在リト云フモ決シテ
誣言ニ非サルナリ苟有志者ニシテ本道ニ移住シ利益
ヲ永遠ニ謀リ成功ヲ漸次ニ期シ應分ノ資本ヲ注入セ
バ農耕ニ漁獵ニ製煉採鑛ニ工作商事ニ其ノ目的ヲ達
シ其ノ事業ヲ興ス豈難シトセンヤ然レモ本道ニ移住
シ應分ノ資本ヲ注入シ一事業ヲ興起セント欲セバ先
實地ヲ經歷シ且書冊ヲ參考シ農耕漁獵ノ方法ヨリ運

三

輪ノ便否商況物價ノ如何等ニ至ルマテ大概之ヲ胸臆ニ收メ然ル後其ノ着手ノ目的ヲ確定シ徐々計畫勉勵忍耐スルヲ必要トス否ザレバ狙ヒテ定メズシテ矢ヲ放ツト一般其ノ目的ニ達スル能ハス加之或ハ左躡右顛一生ヲ誤ルヲナシトセズ方今世人ノ本道ニ移住シ永遠ノ生計ヲ圖ルモノ日一日ヨリ多シ而シテ其ノ目的ヲ達セズ困頓窮愁僅ニ跡ヲ漁業雇人ニ寄セ或ハ蕩産廢業終ニ其ノ之ク所ヲ知ラサルモノ往々少シトセズ究竟スルニ本道ノ景況ヲ知ラズ輕學家ヲ舉ケテ移住スルガ故ナリ余乏キヲ開拓使及函館縣ニ承ク函館

ニ留住スル十餘年移住者ノ實況ヲ見聞シ常ニ以テテ遺憾トセリ乃淺劣ヲ顧ミズ此ノ書ヲ編シテ以テ印刷ニ付ス素僅々二小冊子本道ノ實況一斑ヲ記述スルニ過キス然レモ余ヲ以テテ之ヲ見ルニ世ノ本道ニ志アルモノ之ヲ以テテ傳火ノ薪ト爲サバ則豈小補ナシトセンヤ若夫其ノ全豹ヲ知ント欲セバ官廳綴密ノ統計表報告書等アリ看者幸ニ之ヲ諒セヨ

明治十八年二月

村尾元長誌

凡例

一此篇ハ明治十三年七月編纂刊行ノ現今北海道要覽
ヲ校訂増補シ近時北海道ノ概況ヲ見ルノ一助ト爲
スニ在リ故ニ題シテ増訂北海道要覽ト云フ
一十三年刊行ノ書ハ十二年ノ末原稿稍成ルニ及ンテ
火災ニ罹リ其過半ヲ失フ故ニ殘篇ニ就キ多少補正
ヲ加ヘリト雖漁業通運移民築造歳出入稅則等ノ
諸項皆之ヲ欠ケリ本篇ハ此數項其他増補スルモノ
極メテ多シ故ニ前後二篇十九章一百九款トシ又款
ヲ分ナテ數節トス

一記事ハ務メテ現今ノ實況ヲ見ルヲ目的トスト雖既往ニ遡リ沿革ヲ叙述スルモノアリ此其素因ヲ知ルヲ必要トスルモノアレバナリ又統計ニ關スルモノハ三年乃至五年ヲ表章シ或ハ現今ト往昔ヲ比較スルモノアリ此本道ノ進否ヲ徵知スルノ便ヲ圖ルニ在リ

一記事ハ正確ヲ期スルガ故ニ引用書ハ各官廳ノ刊行圖書表記若クハ布告布達若クハ時々ノ報告雜誌等ニ基キ廢存ヲ校訂スト雖近時ノ景況ハ參考書ニ乏キヲ以テ實見ニ因リテ記述シ或ハ傳聞ニ取リテ書

ス然レモ正確ノ憑據アルモノニ非サレバ探ラズ
 一行文ハ雅俗ニ拘ハラヌ務メテ平易ヲ主トス地名物名等ハ初出ニ於テ假名ヲ付シ或ハ方言ヲ註ス但文字一定セサルモノハ官版ノ圖書ニ基キ文字ヲ填シ其考據スベカラサルモノハ假名ヲ用ヒ或ハ慣用文字ニ從フ

一國郡町村ハ郡區町村ニ詳悉シ其他ハ概郡區町村ヲ記シ國名ヲ畧ス函館札幌ハ區ト單稱ス但其町村不分明ノモノハ姑ク郡區名ニ止ム

一數量價值ハ大抵冗長ヲ厭ハズ何百何十何々ト記ス

儘圓位石位反位等ニ止ムルモノアリ各款ノ初ニ記註ス

一余此篇ヲ編輯スル十六年三月ニ始マリ十七年二月ニ至ツテ稍成ル其事全道三縣ニ係ルヲ以テ材料ノ蒐輯極メテ難シ偶々友人石田良助余ト志ヲ同レ材料ノ蒐輯ヲ助ケ得ル所少カラズ而シテ編輯一年余ニ亘リ前後形勢變更一ニシテ足ラズ再三改正ヲ加ヘ且追補スル所アリト雖未タ誤膠脫漏ヲ免レズ看者幸ニ之ヲ恕シ示教ヲ吝ム勿レ

明治十八年二月

編者誌

增訂北海道要覽目次

前篇

第壹章 土地

第壹款	縣廳位置	一	丁
第貳款	所管國郡	二	丁
第三款	郡區町村	三	丁
第四款	裁判區畫	二十二	丁
第五款	面積、周圍	二十四	丁
第六款	經緯度	二十五	丁
第七款	氣候	二十七	丁

目次

第一	氣象ノ一	二十七丁
第二	氣象ノ二	二十八丁
第三	測候所	三十一丁
第八款	地籍	三十二丁
第九款	開墾反別	三十五丁
第十款	山嶽ノ景況	三十九丁
第十一款	河川ノ景況	四十七丁
第十二款	島嶼ノ景況	五十九丁
第十三款	港灣ノ景況	八十一丁
第十四款	岬角ノ景況	百十四丁

第十五款	暗礁ノ景況	百二十三丁
第十六款	海峽ノ景況	百二十六丁
第十七款	湖沼ノ景況	百三十一丁
第十八款	山林原野	百三十五丁
第十九款	温泉	百五十丁
第二十款	瀑布	百五十五丁
第二十一款	渡船場	百五十九丁
第二十二款	里程	百六十五丁
第一	驛路里程	百六十五丁
第二	三府四港近縣里程	百七十四丁

第三 海路里程

百七十五丁

四

第二章 戶口

第壹款 全道戶數人員 百七十七丁

第貳款 縣別戶數人員 百七十八丁

第三款 港市戶數人員 百八十一丁

第四款 舊土人戶數人員 百八十五丁

第五款 居留外國人戶數人員 百八十七丁

第六款 戶口增減ノ景況 百八十九丁

第三章 官事

第一款 三縣官吏郡區吏戶長ノ數 百九十五丁

第二款 議員、總代人ノ數 百九十七丁

第三款 裁判所々在地及官吏ノ數 二百丁

第四款 裁判件數 二百五丁

第五款 警察署 二百十三丁

第六款 監獄署 二百十七丁

第七款 北海道事業管理局 二百二十三丁

第八款 驛遞出張局 二百二十五丁

第九款 稅關 二百二十六丁

第十款 船政所 二百二十六丁

第十一款 集治監 二百二十八丁

五

第一	樺戶集治監ノ景況	二百二十八丁
第二	空知集治監ノ景況	二百三十二丁
第十二款	船舶検査所	二百三十三丁
第十三款	領事館	二百三十四丁
第四章	兵事	二百三十五丁
第壹款	鎮臺兵	二百三十五丁
第貳款	砲兵	二百三十六丁
第三款	屯田兵	二百三十七丁
第一	士官兵卒及戸數人員	二百三十八丁
第二	農業其他ノ景況	二百三十九丁

第五章 教育

二百四十七丁

第壹款	官立學校	二百四十七丁
第貳款	縣立學校	二百五十三丁
第三款	町村立學校	二百五十九丁
第四款	私立學校	二百六十三丁
第五款	舊土人教育ノ景況	二百六十六丁
第六款	教育ニ關スル會合	二百六十七丁

第六章 衛生

第一款	縣立病院	二百七十一丁
第二款	町村立病院	二百七十二丁

第三款	私立病院附開業醫	二百七十五丁
第四款	患者及種痘兒ノ數	二百七十六丁
第五款	醫學所及産婆教授所	二百七十八丁
第七章	農業	二百七十九丁
第一款	著名農産物ノ收穫高	二百七十九丁
第二款	農業期節	二百九十五丁
第三款	官園及試験場等ノ景況	二百九十八丁
第一款	葡萄園	三百丁
第二款	葎草園	三百一丁
第三款	札幌育種場	三百二丁

第四	七重試験場	三百二丁
第五	札幌菓樹園	三百十三丁
第六	穗香官園	三百十三丁
第四款	養蚕ノ景況	三百十三丁
第一款	札幌地方ノ養蠶概況	三百十八丁
第二款	函館地方ノ養蠶概況	三百二十三丁
第三款	根室地方ノ養蠶概況	三百二十四丁
第五款	牧畜ノ景況	三百二十四丁
第一款	真駒内牧牛場	三百二十八丁
第二款	新冠牧馬場	三百三十丁

第三	札幌緬羊場	三百三十二丁
第四	根室牧牛馬場	三百二十三丁
第五	札幌牧豚場	三百三十三丁
第六	七重試験場ノ牧畜概況	三百三十四丁
第七	桔梗野緬羊場	三百三十六丁
第八	民有牛馬ノ數	三百三十八丁
第九	牛馬市	三百四十丁
第十	競馬	三百四十二丁
第六款	農業會社	三百四十二丁
第七款	農業ニ關スル會合	三百五十七丁

第八章 工業及製造

第壹款	官設諸工場ノ概況	三百五十九丁
第一	札幌麥酒釀造所	三百五十九丁
第二	札幌製粉所	三百六十丁
第三	札幌製網所	三百六十一丁
第四	札幌味噌醬油製造所	三百六十三丁
第五	札幌葡萄酒釀造所	三百六十四丁
第六	石狩美々罐詰所	三百六十五丁
第七	札幌工事試驗所	三百六十七丁
第八	札幌紡織場	三百六十七丁

- 第九 水車器械所 三百七十二丁
- 第十 木工所 三百七十二丁
- 第十一 鍊鐵所 三百七十三丁
- 第十二 鑄造所 三百七十三丁
- 第十三 製鐵器械所 三百七十四丁
- 第十四 蒸氣木挽器械所 三百七十四丁
- 第十五 厚別水車器械所 三百七十四丁
- 第十六 根室木挽器械所 三百七十五丁
- 第十七 厚岸鐘詰所 三百七十六丁
- 第十八 別海鐘詰所 三百七十六丁

- 第十九 紋盤製糖所 三百七十七丁
- 第二十 七重製造所 三百八十丁
- 第二十一 燧木製造所 三百八十二丁
- 第二十二 活版所 三百八十三丁

第二款 民設諸工場ノ概況

- 第一 製革所 三百八十三丁
- 第二 鱈肝油製造所 三百八十四丁
- 第三 煉化石製造所 三百八十六丁
- 第四 製油所 三百八十六丁
- 第五 製漿所 三百八十七丁

第六	製氷所	三百八十八丁
第七	函館機械製造所	三百九十丁
第八	厚岸器械所	三百九十三丁
第九	各地造船所	三百九十三丁
第三款	酒類釀造	三百九十七丁

後篇

第九章 商業

第一款	輸出入ノ景況	四百〇一丁
第一	内國輸出入ノ景況	四百〇五丁
第二	海外輸出入ノ景況	四百三十七丁

第二款	銀行ノ景況	四百四十三丁
第三款	會社ノ景況	四百四十八丁
第四款	物價ノ概略	四百六十三丁
第五款	賃銀ノ概畧	四百六十九丁
第六款	金利ノ景況	四百七十六丁
第十章	漁業	四百七十九丁
第一款	著名水産物ノ收穫高	四百七十九丁
第二款	漁業ノ季節	五百〇三丁
第三款	漁網ノ種類員數	五百〇六丁
第四款	漁民戶口及漁業雇夫ノ數	

其給料

五百〇九丁

第五款 水産物ノ保護

五百二十一丁

第一 漁業及昆布採取資本金

五百二十二丁

第二 禁令示達ノ概要及海産

干場ノ製魚苗成育等

五百二十五丁

第十一章 獵業

五百四十一丁

第壹款 鹿獵

五百四十一丁

第貳款 熊狼獵

五百四十八丁

第三款 烏鴉獵

五百四十九丁

第四款 臘虎獵

五百五十丁

第十二章 鑛業

五百五十二丁

第一款 幌内煤田 附近傍炭山

五百五十二丁

第二款 岩内煤田

五百六十丁

第三款 借區及試堀

五百六十七丁

第四款 鑛礦所在地

五百七十二丁

第十三章 通運

第一款 陸運ノ景況 附陸運改良事業

五百七十九丁

第二款 車輛ノ數

五百八十七丁

第三款 鐵道

五百八十九丁

第一 起業ノ概畧

五百八十九丁

第二	線路ノ景況	五百九十一丁
第三	土功ノ景況	五百九十七丁
第四	營業ノ景況	六百〇二丁
第五	貨物及乘客賃銀	六百〇四丁
第四款	電信	六百十五丁
第五款	郵便	六百十八丁
第一	局名位置等級	六百十八丁
第二	郵便線路遞送時間	六百二十一丁
第六款	海運ノ景況	六百二十七丁
第一	海運沿革	六百二十七丁

第二	航海線路及運賃	六百三十一丁
第三	船舶ノ數	六百三十八丁
第四	各港出入船舶ノ數	六百四十一丁
第五	帆船競走紀畧	六百五十丁
第六	掖濟會及製帆所	六百五十三丁
第十四章	築造	六百五十五丁
第一款	土功ノ概況	六百五十五丁
第二款	燈臺礁標浮標	六百五十八丁
第十五章	國稅	六百六十五丁
第一款	國稅ノ異同	六百六十五丁

第二款 物産税ノ税率

六百七十七丁

第三款 國税ノ收入

七百〇四丁

第十六章 縣ノ歳入出及協議費賦金出

港税地方税ノ乘率

七百〇八丁

第一款 縣ノ歳入

七百〇九丁

第二款 縣ノ歳出

七百十丁

第三款 協議費及賦金

七百十四丁

第四款 出港税ノ税率

七百十八丁

第五款 地方税ノ税率

七百十九丁

第十七章 物産

第一款 物産種類ノ概畧

七百三十一丁

第二款 共進會

七百四十七丁

第十八章 移住民

第一款 移住民ノ心得

七百五十三丁

第二款 移住民ノ景况

七百八十七丁

第一 有珠移住民

七百八十七丁

第二 當別移住民

八百〇二丁

第三 遊樂部移住民

八百〇八丁

第四 靜内移住民

八百十四丁

第五 室蘭幌別移住民

八百十七丁

第六	札幌地方ノ移住民	八百二十三丁
第七	石狩地方ノ移住民	八百三十丁
第八	余市瀬棚歌棄地方ノ移 住民	八百三十一丁
第九	浦河沙流地方ノ移住民	八百三十五丁
第十	山田松村兩氏開墾場其 他ノ景況	八百三十六丁
第十九章	雜事	
第一款	博物館	八百四十丁
第二款	公園	八百四十丁

第三款	會堂	八百四十二丁
第四款	女紅場	八百四十四丁
第五款	育兒會社	八百四十五丁
(追補)	此一書脫稿ノ後改正新創 ノ諸事ヲ追録ス	八百四十九丁

目次了

增訂北海道要覽

前篇

村尾元長 編纂



第壹章

土地

第壹款

縣廳位置

北海道八十一國八十六郡明治十五年二月開拓使ヲ廢シ函
館札幌根室ノ三縣ヲ置カル縣廳位置左ノ如シ

函館縣廳 渡嶋國函館區元町壹番地

札幌縣廳 石狩國札幌區南一條西三丁目八番地

根室縣廳 根室國根室郡常盤町八丁目

○第貳款 所管國郡

縣廳位置 所管國郡

三縣所管ノ國郡左ノ如シ

函館縣

渡島國 一圓

後志國ノ内 八郡

磯谷郡 久遠郡 奥都都郡

膽振國ノ内 一郡

山越郡

大牧郡

島

札幌縣

石狩國 日高國 十勝國 天鹽國 一圓

後志國ノ内 九郡

小樽郡 古高島郡

余市郡

美内郡

古平郡

忍路郡

膽振國ノ内七郡

虻田郡

白老郡

千室郡

幌別郡

北見國ノ内四郡

宗谷郡

枝幸郡

利尻郡

禮文郡

根室縣

根室國 釧路國 千島國 一圓

北見國ノ内四郡

紋別郡

常呂郡

網走郡

斜里郡

○第三款 郡區町村

函	縣	國	郡	區	郡區役所位置	町	村
						元町、會所町、沙見町、曙町、壽町、青柳町、春日町、相生町、住吉町、谷地頭町	

郡區町村

松前郡	上磯郡	
キニ松 全郡前 郡役郡 ヲ所川 管ヲ原 ス置町		郡キニ ナ龜郡 管田役 ス上所 磯ヲ ニ置
大松前町、枝崎町、中町、袋町、横町、湯殿澤町、新荒町、小松前町、松城町、石田唐津内町、社堂町、生符町、白河町、愛宕町、博知、垂石村、赤神村、札前村、根部田村、原口村、江良町、清部村、茂草村、村中野村、清川村、知内村、別村、茂邊地村、富川村、谷好村、上磯、木古内村、札苧村、泉澤村、釜谷村、石井村、尻岸内村、假法華村、渡村、藤城村、軍川村、七飯村、小安村、村大野村、本郷村、文月村、昨下村、市		

五

龜田郡	函館區	渡島國
龜田郡、龜田村、治村、志皆村、志田村、下湯川村、根崎村、上湯川村、志皆村、錢龜澤村、石崎村、龜尾村、鍛治村、神山村、赤川村、石川村、桔梗村、大中山村、一本木村、千代田村、鶴野	管館役函渡 ス市所館島 街ヲ元國 一置町龜 圓キニ田 ヲ函區郡	大町、仲濱町、未廣町、東濱町、地蔵町、船場町、惠比須町、蓬萊町、沙留町、町鶴岡町、若松町、音羽町、高砂町、大町、東川町、大森町、富岡町、天神町、旅籠、泊町、船見町、駒止町、臺町、山脊

四

後			
奥尻郡	久遠郡	爾志郡	
置村久 キニ遠 久郡郡 遠役一 奥所艘 尻ヲ間			郡 ヲ 管 ス
釣懸村、赤石村、薬師村、青苗村、	田内村、貝取淵村、長磯村、	太田村、上古丹村、久遠村、湯尻村、平	熊石村、泊川村、相沼内村、蚊柱村、三
子村、	國村、木ノ子村、石崎村、汐吹村、小砂	小屋町、五勝手村、北村、大留村、上ノ	茂尻町、中茂尻町、小平澤町、碓町、寺
平治町、彌陀堂町、切石町、影之町、澤	地裏町、新地町、法華寺町、上野町、佐	姥神町、津花町、濱茂尻町、酒田町、新	

館	
島	
檜山郡	
キニ檜 檜郡山 山役郡 爾所中 志ヲ歌 ニ置町	
木石町、豊部内町、九艘川町、中歌町、	北新町、中野町、川原新町、片原町、詰
崎村、伏木村、戸村、田澤村、泊村、東新町、	鷺村、館村、俄虫村、土橋村、目名村、柳
鯨川村、小黒部村、赤沼村、安野呂村、	禮部村、吉岡村、宮歌村、白符村、福島
上及部村、大澤村、荒谷村、炭燒澤村、	傳治澤町、山之上一町、寅向町、及部町、
上町、東中町、東下町、東新町、泊川町、	上町、馬形中町、馬形下町、端立町、東
藏町、中河原町、川原町、神明町、馬形	

後			
奥尻郡	久遠郡	爾志郡	
置村久 キニ遠 久郡郡 遠役一 奥所艘 尻ヲ間			郡 ヲ 管 ス
釣懸村、赤石村、薬師村、青苗村、	田内村、貝取、淵村、長磯村、	太田村、上、古丹村、久遠村、湯尻村、平	ツ谷村、突符村、小茂内村、乙部村、
熊石村、泊川村、相沼内村、蚊柱村、三	子村、	國村、木ノ子村、石崎村、汐吹村、小砂	小屋町、五勝手村、北村、大留村、上ノ
茂尻町、中茂尻町、小平澤町、碓町、寺	平治町、彌陀堂町、切石町、影之町、澤	地裏町、新地町、法華寺町、上野町、佐	姥神町、津花町、濱茂尻町、酒田町、新

七

館	
島	
檜山郡	
キニ檜 檜郡山 山役郡 爾所中 志ヲ歌 二置町	
木石町、豐部内町、九艘川町、中歌町、	北新町、中、新、川、原、新、町、片、原、町、詰、
崎村、伏木村、戸村、田澤村、泊村、東新町、	鶴村、館村、俄虫村、土橋村、目名村、柳
賊川村、小黒部村、赤沼村、安野呂村、	村、
禮髭村、吉岡村、宮歌村、白符村、福島	上、及、部、村、大、澤、村、荒、谷、村、炭、燒、澤、村、
傳治澤町、山之、上、町、寅、向、町、及、部、町、	上、町、東、中、町、東、下、町、東、新、町、泊、川、町、
上、町、馬、形、中、町、馬、形、下、町、端、立、町、東、	藏、町、中、河、原、町、川、原、町、神、明、町、馬、形、

六

後		濱益郡	厚田郡
小樽郡	管路キニ小 ス余小郡樽 市樽役郡 四高所信 郡島ヲ香 ヲ忍置町		登キニ石 三石郡狩 郡狩役郡 ヲ厚所親 管田ヲ船 ス濱置町
町入船町花園町曙町港町堺町住	町信香裏町信香町山ノ上町有幌	新地町金曇町龍徳町若松町開運	澤村川原町高砂町土場町芝居町
町勝納町潮見町新富町眞榮町奥	銭函村張碓村朝里村熊碓村若竹	川下村實田村柏木村尻苗村茂生	聚富村望來村嶺泊村古潭村押琴
村群別村		畫村	村小谷村別狩村厚田村安瀨村濃

狩						
石狩郡	夕張郡	空知郡	雨龍郡	樺戸郡	上川郡	札幌郡
				六戸(キ)郡 雨龍ヲ分 轄川ノ	幌夕張市 街ヲ知チ 除札郡南	二役所ヲニ 分置札幌 區
生振村當別村篠津村樽川村	場町親船町花畔町若生町八幡町	本町辨天町新町濱町横町仲船	市來知村幌内村幌向村	月形村	村江別村	雁來村苗穂村丘殊村篠路村對雁
						石村白石村平岸村月寒村札幌村
						手稻村山口村山鼻村豊平村上白

膽		志		
虻田郡	室蘭郡	古宇郡	岩内郡	積丹郡
管珠キニ室 ス幌室郡蘭 別蘭役郡 四此所札 郡田ヲ幌 ヲ有置通		二置町岩 郡キニ内 ヲ岩郡郡 管内役御 ス古所銚 宇ヲ内		
有珠村、長流村、東紋監村、西紋監村、	禮文村、辨邊村、虻田村、	濱町、本町、	幌通、西小路町、澤町、幕西町、常盤町、	千舞籠村、室蘭村、輪西村、繪鞆村、札
		盃村、泊村、	珊瑚内村、赤石村、神惠内村、興志内村、	町、難波町、野束村、敷島内村、
			稻穂崎村、橋町、吹上町、堀江町、三嶋	御銚内町、幌似村、小澤村、老古美村、
			茅沼村、堀株村、發足村、翠野舞納村、	村、來岸村、余別村、神岬村、

美濃郡	古平郡	余市郡	忍路郡	高島郡
丹キニ古 三古郡平 郡平役郡 ヲ美所濱 管國ヲ中 ス積置村				
出岬村、入船村、日司村、野塚村、西河	美村、	船淵村、小泊村、厚苦村、幌武意村、婦	入船町、新地町、群來村、	沖村、澤江村、歌藥村、濱中村、垂美村、
		木村、大江村、	澤村、富澤町、山道村、山白町、沖村、仁	黒川村、山田村、番部村、濱中町、川村、
			鹽谷村、忍路村、桃内村、蘭島村、	嶋村、祝津村、
			色内町、手宮町、手宮裏町、稻穂町、高	初町、相生町、

浦多 河多 郡	静多 内多 郡	新 冠 郡	
---------------	---------------	-------------	--

村、西 舍村、 杵臼村、	朝多 村、姊 茶村、 後邊 戸村、 野深 村、萩 伏	浦多 河多 郡、井 寒盛 村、幌 別村、 向別 村、後	春多 立村、 音江 村、遠 別村、	藥多 村、有 良村、 姉蟹 村、佐 妻村、 捫別 村、	村、遠 佛村、 嘉別 村、市 父村、 農家 村、碧	下多 々方 村、中 下方 村、上 下方 村、目 名	村、萬 翔村、 滑若 村、	比多 宇村、 泊津 村、高 江村、 去置 村、姉 去	大多 符部 村、葉 朽村、 受乞 村、元 神部 村、	村、厚 別村、 茶實 村、	村、荷 茶摘 村、波 惠村、 慶能 舞村、 賀張
--------------------	---	--	-------------------------------	--	---	--	------------------------	---	---	------------------------	--

幌					
日	振				
沙 流 郡	千 歳 郡	白 老 郡	勇 拂 郡	幌 別 郡	有 珠 郡

ス 静千置村勇
内歳キニ拂
六沙勇郡郡
郡流拂役苦
ナ新白所小
答冠老ヲ牧

村、長 知内 村、幌 去村、 貫氣 別村、 門別	津村、 荷茶 村、平 取村、 二風 谷村、 荷負	佐多 瑠太 村、富 仁家 村、平 賀村、 紫雲 古	千多 歳村、 蘭越 村、烏 柵舞 村、長 都村、 漁	村、島 松村、	數多 生村、 白老 村、社 臺村、	村、穂 別村、 邊富 内村、 植苗 村、	目多 戸村、 萌別 村、生 隘村、 似灣 村、累 標	苦多 小牧 村、勇 拂村、 厚真 村、鶴 川村、 井	樽多 前村、 覺生 村、錦 多峯 村、小 糸魚 村、	鶯多 別村、 幌別 村、登 別村、	黃多 金藥 村、
--	--	--	---	------------	-------------------------------	-------------------------------------	---	---	---	-------------------------------	----------------

北		勝			中		
枝	宗	上	河	河	中		
幸	谷	川	東	西	川		
郡	郡	郡	郡	郡	郡		
文 利 尻 四 郡	ニ 宗 郡 役 所 幸 禮						
順 別 村、 枝 幸 村、 歌 登 村、 禮 文 村、	村、 猿 拂 村、 拔 海 村、 稚 内 村、 聲 間 村、 宗 谷 村、 泊 内	人 舞 村、 屈 足 村、	美 登 村、 音 更 村、 然 別 村、 東 士 狩 村、 西 士 狩 村、	生 村、 茅 室 村、 羽 帶 村、 幸 震 村、 戸 蔦 村、 煮 拔 村、 賣 貴 村、 上 帶 廣 村、	荆 苞 村、 下 帶 廣 村、 伏 古 村、 迫 別 村、 美 生 村、 茅 室 村、 羽 帶 村、 幸 震 村、 戸 蔦 村、	村、 幕 別 村、 白 人 村、 別 奴 村、 嫌 侶 村、 本 別 村、 蝶 多 村、 止 若 村、 咲 別 村、	邊 村、 押 帶 村、 勇 足 村、 饞 蓋 村、 負 箴 村、 嫌 侶 村、 本 別 村、 蝶 多 村、 止 若 村、 咲 別 村、

十			高			
十	當	廣	幌	榛	三	
勝	緣	尾	幌	似	石	
郡	郡	郡	郡	郡	郡	
			一 西 河 東 上 川 十	似 幌 泉 中 川 當	浦 河 郡 役 所 河 浦 郡 石 置 村	
村、 旅 來 村、 安 骨 村、 豐 頃 村、 十 弗 村、 凋 寒 村、 榛 舞 村、 誓 牛 村、 信 取 村、 蓋 派 村、 居	大 津 村、 長 白 村、 鼈 奴 村、 十 勝 村、 生 剛 村、 愛 牛 村、	歷 舟 村、 當 緣 村、 大 樹 村、	茂 寄 村、 村、 油 駒 村、 小 越 村、 庶 野 村、 猿 留 村、	近 呼 村、 笛 舞 村、 幌 泉 村、 歌 別 村、 歌 露 村、 村、 誓 内 村、 二 七 村、 岡 田 村、	鶴 苦 村、 榛 似 村、 平 鶴 村、 冬 島 村、 幌 滿 村、 村、 歌 笛 村、	旗 布 村、 邊 訪 村、 幌 毛 村、 鬼 舞 村、 本 桐 村、 歌 笛 村、

縣	
見	
紋別郡	常呂郡
茶苗村、野附牛村、手師學村、	
紋別村、藻籠村、瑠椽村、沼滑村、幌内村、與部村、澤木村、湧別村、沙留村、雄武村、	

二十二

諸裁判所ノ區畫ハ左ノ如シ
○第四款 裁判區畫

函館					控訴
弘前					始審
八戸	五所河原	青森	鯉ヶ澤	弘前	治安
青森縣					縣名
陸奥	陸奥	陸奥	陸奥	陸奥	國名
三ノ戸	北津輕	上北ノ内	西津輕	南津輕	區
上北ノ内					郡

控訴									
函館					札幌				
函館	江差	福山	壽都	札幌	浦川	増毛	小樽	岩内	根室
函館縣					札幌縣				
膽振	渡島	後志	後志	石狩	十勝	天鹽	後志	後志	根室
函館區、龜田、上磯、茅部、	檜山、爾志、久遠、大樽、潮棚、奥尻、	松前、	島牧、壽都、歌樂、磯谷、	札幌區、室蘭、幌別、勇拂、白老、千歳、	全七郡	全六郡、利尻、禮文、	小樽、島、余市、美國、	古宇、岩内、	全五郡、網走、
全國六郡									

周圍面積

二十三

○第五款 周圍及面積

本道周圍及面積諸書記載スル所一ナラス今第二統計年鑑
其他二三ノ書ヲ參考シ北海道本地千島ヲ分チ且ツ三縣ヲ
區分スレハ左ノ如シ

○周圍

北海道本地 五百八十三里三三

千島島三十 八十九里一二

合計 六百七十二里四五

○面積

北海道本地 五千〇五十六方里七八

屬島 五十二方里三五

合計 五千百〇九方里一二

千島島三十 九百八十六方里二三

○縣別面積

函館縣 五百十四方里五七

札幌縣 三千二百四十五方里五一

根室縣 二千三百三十五方里二八

合計 六千〇九十五方里三六

○第六款 經緯度

北海道本地

極東根室國 東經百四十六度三十七分

極西大渡島國 西經百三十九度十一分

極南小渡島國 北緯四十一度二十一分

極北北見國 北緯四十五度三十分

經緯度

千嶋

極東 占守郡 占守 端島 東經百五十六度三十二分
 極西 國後郡 クルチ山 端 西經百四十五度二十一分
 極南 國後郡 ケラムイ岬 端 北緯四十三度三十九分
 極北 占守郡 アライト島 端 北緯五十度五十六分

函館縣廳

函館區 元町

北緯 四十壹度四十五分五十四秒
 東經 百四十度四十三分六秒

札幌縣廳

札幌區南一條 西三丁目

北緯 四十三度三分三十五秒
 東經 百四十壹度貳十貳分三十七秒

根室縣廳

根室郡 松ヶ枝町

北緯 四十三度貳十分十六秒
 東經 百四十五度三十四分五十七秒

但根室縣廳ハ彗ニ火災ニ罹リ現今根室郡常盤町八丁目ニ新築スト雖其經緯詳ニ知ルヲ得ス故ニ本文舊開拓使支廳所在地ノ經緯度ヲ掲ケテ參考ニ供ス
 以上記載スルノ外港灣島嶼等ノ部ニ掲クルヲ以テ此ニ省略ニ從フ

○第七款 氣候

氣候ハ全道各地多少ノ差異アリト雖精細ノ調査ヲ得ズ且繁雜ノ恐レアルヲ以テ函館札幌留萌根室四所ノ寒暖雨雪ノ概略ヲ表示スルヲ左ノ如シ

第一 氣象略表ノ一

寒暖計ハ華氏ノ度ヲ用フ◎印ハ氷點以下ノ度ヲ示ス

氣候

年二十		全 十 三 年			全 十 四 年			全 十 五 年		全 十 六 年	
札 幌	留 萌	函 館	札 幌	留 萌	根 室	函 館	札 幌	函 館	札 幌	函 館	
一四五	一二三	一〇三	一二七	一〇一	二五	一二四	一三二	一三四	一四九	九五	
一〇〇	八九	五三	八二	七一	一一	七九	一一六	六六	一〇三	八二	
六	一二	二	〇	七	不詳	一	一	〇	三	〇	
二二	一七	六	一	二	六	六	六	六	一三	七	
一三	一四	一一	三七	二二	不詳	八	一五	二二	二三	一一〇	
一五三	一七一	一二四	一四五	一八一	二一八	一五五	一六三	一五一	一五六	二五五	
九四	八三	九〇	八〇	七七	不詳	一四五	一〇三	一一三	六八	三一	

三十

年六 札 幌 九〇 一一二 〇 一六一 二一八 二四七 二二三

本表ハ時間ノ長短ニ拘ラズ夜半ヲ界トシテ算ス晴曇ハ毎日雲ノ平均(雲ノ割合ヲ示ス天ヲ本表トシテ略スト)ヲ以テ算ス而シテ天氣ノ模様ニ由リ日ニ重複アリ假令ハ雨雪雹ヲ雜ヘ及ヒ雷雨強風アリ終日曇天ナレハ一日ニシテ六行ニ登記スルガ如ク觀測時間ハ前表ニ同シ十二年及十五年十六年根室ノ調ヲ得サルヲ以テ此ニ載セズ

第三 測候所

函館測候所ハ同區高砂町ニ在リ十五年七月以降全國同時ノ觀測時ニ依リ午前六時二十分午後二時二十分同十時二十分ノ三回ニ觀測ス外ニ從來開拓使施行ノ觀測時ヲ存シ參考施行スルモ午前七時午後二時同九時ノ三回アリ本

所ノ設置ハ明治五年七月ニ在リ同十一年開拓使備數學兼
土木博士ウヰリルム、ホヰラ一氏ノ監査ニ依リ地位ヲ現今
ノ地ニ定ム

（退補
参考）

○現今同所ニ備フル器械ハ晴雨計寒暖計雨量計風力計驗
震器時辰器信號旗（烈風暴雨等ノ徵考アルキ）報午旗（正午ヲ
便ニス）等ナリ

札幌縣下ハ札幌北四條西三丁目及増毛ノ兩所根室縣下ハ
根室ニ一所測候所アリ函館ト大同小異ナリ

○第八款 地籍

地籍調ハ刊行ノ諸表等ヲ參考スルニ凡左ノ如シ但根室縣
ノ分田畑海産干場ノ外同時ノ調ヲ得ス暫ク十五年調耕宅
地海産干場ヲ獨テ之ヲ補フ

○函館縣

十六年一月一日調

（數ヲ以テ略ス）

官用地 七百四十貳万五千七百 社 地 三万四千七百二十八

田 四反八畝二十六步 畑 六十町一反九步

宅 地 九万四千六百七十七坪 外國人居留地 壹万四千六百八十二

樹藝園 千三百九十三町五反二 公 園 貳万三百九十六坪

官有地 官 林 十三万五千五百五十八坪 學校 敷地 七千五百坪

病院敷地 七千四百八十七坪 寺院 敷地 四万七千七百四十三坪

墓 地 貳万三千五百六十七坪 川 岸 地 壹万七千八百二十坪

海産干場 貳万九千八百四十一坪 牧 場 九千三百七十四町八

雜 地 三万七千七百六十一坪

本文社地ノ内ニ招魂社官用地ノ内ニ陸軍省用地五
稜郭及深樹藝園ノ内ニ部分木植付地學校ノ内女紅
場寺院ノ内堂宇川岸ノ内川堤防地ヲ合算ス雜地ハ
廣業博覽會敷地荷揚場小塚目標敷地魚乎化場井戸

地等ノ數種ヲ合併セザルモノナリ

民有地

田 千三百三十八町四反二畝
 畑 四步外畦畔略ス
 社 地 五千七百六十七反三畝
 寺院敷地 三萬九千五百七十貳坪
 沼池敷地 貳反八畝十二步
 墓地 十七萬七千四百二十三坪
 宅地 三百五十一万八千四百八十坪外崖地略ス
 海産干場 六十一万二千八百六十坪
 荒地 貳百七十八町八畝十八步
 開墾地 九千六百八十町三反九畝十六步
 道路敷地 三百七坪

○札幌縣

十六年一月一日調

官有地

官用地 百六萬三百拾四坪
 官林地 五億六千八百十四萬二千九百六十貳坪
 社地 七萬二千三百二十六坪
 牧場地 二千五百二十九萬九千九百二十九坪
 學校地 四萬二千三百九十坪
 寺地 九千二十四坪

本文社地ハ中教院敷地寺院地ハ堂宇敷地荒地ハ田畑宅地海産干場沼池ハ井戸墓地ハ火葬場ヲ混ス

一 墓地

十二万四千六百三十二坪

揭示場

百二十三坪

民有地

田 四町四反七畝十九步
 郡村宅地 四十七万七千四百四十五坪
 海産干場 百六十万八千三百八十坪
 畑 二千六百六十五町三反四畝十二步
 市街宅地 十五万八千三百三十三坪九合九夕
 製氷場 七反二畝二步

○根室縣

十五年調

民有地

畑 七町一反一畝十四步
 宅地 五万二千八百七坪七合一夕
 海産干場 八十万八千五百十七坪
 畑 二十九町八反五畝十八步
 宅地 三十五万八千二十六坪七夕
 海産干場 八十七万二千九百四十五坪五合

以上概略ヲ掲クルノミ函館縣ノ如キ反別官林ノ調査函館區ニ止リ他ハ未ダ之ヲ詳悉スルニ及ハ故ニ本文函館區ノミヲ記載セリ

○第九款 開墾反別

開墾反別

開墾反別ハ該年開拓ノ景況ヲ見ルニ於テ必用ノ事項トス
然レモ今詳細ノ調査ヲ得サルヲ以テ概況ヲ左ニ掲ケテ參
考ニ供ス

統計年鑑ニ載スル明治十二年調開拓使設置以來ノ開拓地
ハ左ノ如シ

田	畑	宅地	牧地	海産干場	田畑宅地、區別未詳	札幌管内	函館管内	根室管内	合計
壹町一反七畝	四千八百八十六反	三百六十一町二反三畝	七千二百八十八町八反二畝	七百一十一町八反八畝	、、、、、	四百五十四町三反二畝	三千九十九町一反五畝	五百七十七町六反八畝	四百五十五町四反九畝
、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	七千二百六十五町四反六畝
、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	九百二十町七反七畝
、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	壹万七千三十四町八反九畝
、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	千二百七十四町五反六畝
、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	千四百六十七町四反八畝
、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	三萬四百八十八町六反五畝

總計 壹萬二千四百七十一町七反三畝 壹萬七千二百七十三町六反六畝 六百七十三町二反六畝 三萬四百八十八町六反五畝

又十三年ヨリ十五年ニ至ル函館札幌兩縣下ノ田畑開墾反別ハ概略左ノ如シト云フ但根室縣ノ分詳ナラス故ニ十四年開墾反別ヲ掲ケテ參考ニ供ス

○函館縣下

田	畑	合計	十三年	十四年	十五年	合計
六十二町八反三畝七步	八百五十五反二畝二十六步	九十四町一反九畝十五步	、、、、、	、、、、、	、、、、、	二百四十二町五反五畝十八步
二百九町一反四畝三歩	九百九十三町七反八畝二十九歩	四百町八反五畝十三歩	、、、、、	、、、、、	、、、、、	千六百三十七反八畝十五歩
二百七十一町九反七畝十歩	千七百九十九町三反七畝二十五歩	四千九十五町四畝二十八歩	、、、、、	、、、、、	、、、、、	千八百四十六町三反四畝三歩

右田地ハ渡島國龜田上磯檜山爾志ノ四郡ハ連年開墾アリ
内爾志郡ハ極メテ少シ膽振國山越郡及渡島國茅部郡ハ十
三年及十五年後志國壽都郡ハ十四十五年ニ在リ其他ハ

管畑地ナリ

○札幌縣下

	十三年	十四年	十五年	合計
由	五町六反一畝	十二町四反八畝	十九町五反三畝	三十七町六反二畝
畑	四千七百五十四	五千百三十三町四	六千七百七町九畝	一萬五千九百七
合計	四千七百五十九町	五千二百二十五町	六千二百二十六町	一萬六千二十一町七
右田地ハ石狩國札幌郡騰振國此田郡有珠郡ハ連年開墾ア	六反二畝十八步	五反三畝四步	六反三畝三歩	一萬六千二十一町七

○根室縣下 明治十四年分

ハ後志國岩内郡及日高國浦河郡ニアルノ畑地ノ開墾ハ
 札幌郡有珠郡等ヲ第一トシ之ニ次キ石狩郡小樽郡余市郡
 岩内郡日高國沙流靜内二郡等ナリ

田畑	官有	民有	合計
	十八町四反八畝十六歩	四百二十六町五反一畝八歩	四百四十四町九反九畝廿四歩

右官有ハ根室郡ニ止リ民有ハ同郡ヲ重トシ其他ハ僅々ナ

○第十款 山嶽ノ景況

名山巨嶽記載スヘキモノ固ヨリ多シ今其著名ナルモノヲ
 掲クレハ左ノ如シ

渡島國

横津嶽 龜田郡 赤川、石川、七飯、大中山、軍川、○三森嶽 同川郡 上湯
 東千五百二十高尺 ○函館山 函館市 西五十南七尺アリ ○惠山 龜田郡 火田
 根田内ノ北西高千九百二十尺 ○古部嶽 茅部郡 北尾ア札部 龜田郡 古
 ノ南西ニア高千九百二十尺 ○熊泊嶽 同郡 熊泊村ノ西北ニアリ ○駒
 高郡 二法千二尺

山嶽

内嶽河郡 〇美波色山 凡同三郡 千六在百尺高 〇安取山 高同凡郡 三千在尺百 〇葦中山 同千郡 二百四十尺凡 〇雪城山 三河千郡 二百四十尺高 凡等

釧路國

雄阿寒嶽 阿寒川上ヨリニ郡ニ余勝 〇唯阿寒嶽 同ノ郡ニ属 アス雄山阿下寒 里ヨリ三 〇西別岳 高上郡ニ属 等ナリ

根室國

ラウス山 凡目五千郡 四百尺高 〇標別山 標別郡ニ属 等ナリ

北見國

斜里嶽 凡斜里千郡 四百尺高 〇鈴々嶽 同郡 〇羽奈別嶽 同郡 千尺六 〇有來牛嶽 同里山 〇千登壁牛嶽 未郡 〇硫黄山 斜里郡 〇利尻山 未利尻郡 〇宗谷嶽 在宗谷郡 〇累蘭山 郡同

凡ニ五百尺高等ナリ

千嶋國

爺嶽 阿國後郡ニ 〇邊入嶽 同 〇鶴冠山 別郡ニ 〇和惠 三町余三十 〇單冠嶽 別凡三丁山 〇散粒嶽 〇ラウス 丁三 〇模與呂嶽 二取八山下余 〇辰牛嶽 一國後八百尺 〇和惠 嶽千郡 〇高凡三 〇多布斗豆山 未郡 〇於加伊豆山 同 〇和惠 鳴志山上 〇鐘山上 此他千嶋群嶋無名ノ山ニテ著名ノモノヲ掲ケレハ左ノ 如シ

無名山

占守郡第一島ニ在リ噴火山ナリ

同上

同郡第二島アライトニアリ

同上

同郡第三島ホ最高凡三千尺外噴火山 數合セテ一

河川

同上 同郡第五島ヲチコタシニアリ島上四峯ヲ現

○第十壹款 河川ノ景况

大川ノ數亦少シトモ今其著名ナルモノハ概テ省略ニ從フ

渡嶋國

有川 水源 龜田郡 入市ノ長渡 凡村 十一發 里レ 瀨南 三流 十レ 三上 間磯 深郡 六有 尺川 ア村 二至

久根 別川 有 南川 流ノ 支 上川 磯ニ 郡シ 上テ 磯龜 村田 二郡 至岬 下 有字 川底 二佐 合澤 スヨ 長リ 三發

戸切 地 至源 海 上 磯 入 郡 上 磯 十 村 一字 里 石 餘 山 瀨 道 二ヨ 十 五 發 間 深 同 三 村 尺 前 濱 二

柳川 源 至 前 海 同 郡 入 カ 郡 長 三 山 里 餘 瀨 瀨 同 郡 深 谷 三 好 尺 富 川 兩 村 界

茂邊 地 川 海 源 入 上 磯 長 郡 凡 茂 八 邊 里 地 瀨 村 三 西 十 股 間 深 澤 三 尺 發 尺 東 南 流 ン 界

木古 内 川 南 又 流 大 シ 川 上 磯 郡 木 水 古 源 内 上 村 磯 二 郡 至 木 古 海 内 二 稻 入 磯 長 二 凡 發 六 里 東

知内 川 源 海 松 入 前 郡 長 千 八 岳 里 二 瀨 發 三 十 東 間 流 深 五 上 尺 磯 郡 知 内 村 二 至

天ノ 川 海 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

厚澤 部 川 至 源 上 磯 入 郡 戶 長 切 凡 地 十 山 四 二 里 發 瀨 六 西 十 流 間 檜 深 山 二 郡 尺 柳 乃 崎 至 村 六 二

落部 川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

野田 川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

龜田 川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

願乘 寺 川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

龜川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

龜川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

龜川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

龜川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

龜川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

龜川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

龜川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

龜川 源 入 檜 山 郡 凡 勝 七 棚 里 山 瀨 二 五 發 十 八 西 間 流 深 同 九 郡 尺 上 又 上 國 村 國 二 川 至 一 至

五十八

常呂川	源ニ注ク石狩凡山中ニ發シ東北流深谷一郡呂村ニ至リ海ニ
聲問川	源入ルナニ宗四郡十郡間山深中ニ測發シ北流同郡聲問村ニ至テ海ニ
富別川	源別ニ至天ノ海ニ高ル山ニ發シ五里北流一郡水町ニ至テ海ニ
湧別川	源別ニ至天ノ海ニ高ル山ニ發シ五里北流一郡水町ニ至テ海ニ
渚川	源別ニ至天ノ海ニ高ル山ニ發シ五里北流一郡水町ニ至テ海ニ
瑠椽川	源別ニ至天ノ海ニ高ル山ニ發シ五里北流一郡水町ニ至テ海ニ
幌内川	源別ニ至天ノ海ニ高ル山ニ發シ五里北流一郡水町ニ至テ海ニ
猿拂川	源別ニ至天ノ海ニ高ル山ニ發シ五里北流一郡水町ニ至テ海ニ
興部川	源別ニ至天ノ海ニ高ル山ニ發シ五里北流一郡水町ニ至テ海ニ
網走川	源別ニ至天ノ海ニ高ル山ニ發シ五里北流一郡水町ニ至テ海ニ
留別川	源別ニ至天ノ海ニ高ル山ニ發シ五里北流一郡水町ニ至テ海ニ

○第十二款 島嶼ノ景況

藥取川	源入ル藥取五里嶺與十沼ニ發シ西北流藥取村ニ至リ海ニ
別飛川	源入ル別飛八尺山ニ發シ別飛村ニ至リ海ニ入ル
紗那川	源入ル紗那八尺山ニ發シ紗那村ニ至リ海ニ入ル
内保川	源入ル内保八尺山ニ發シ内保村ニ至リ海ニ入ル

島嶼ハ千嶋根室ノ二國ニ屬スルモノ多ク其他ハ二三ニ過キス而シテ嶋ノ大ナルモノハ古來島中數部落ヲ爲シ維新ノ初全道國郡ヲ區畫スルニ方テ皆郡ト爲セリ即擇捉、國後、利尻、禮文、與尻、ノ如キ是ナリ樺太、千嶋、交換ヨリ我版圖ニ入リタル得撫其他悉ク島嶼ナラサルナシ此各島ハ郡區町村部其他各項ニ記載スト雖モ此ニ概況ヲ記スル左ノ如シ

○擇捉島

本島ハ千島國ニ屬ス島嶼中ノ大ナルモノヨシテ西南ハ國
 後ニ對シ東北ハ得撫ニ隣ル周廻凡二百八十里(地誌提要三五
 八里面積四百六十)東南ニ長ク東西ニ短シ之ヲ大別スレハ西
 岸ハ居民部落ヲ爲シ東岸ハ絕壁路ヲ絶シ舟ヲ近ク可ラヌ
 島中別テ四郡(釋那、藥取、紗那、坂別)トナシ十六年一月戸數百二十一
 口九百五十七アリ海産ハ有名ノ鱒及紅鱒ヲ産出シ又臘虎
 ハ此島ノ沿海ヲ捕獲ノ地トセリ樹木ハ五鬣松ニ富ミ其他
 雜木叢生ス島中高山六アリ寒氣酷烈四月氷解舟ヲ通ス五
 月ニ至テ風浪漸平ニ氷塊泛流スト寛政十二年近藤重藏山
 田鯉兵衛始テ之ヲ開キ會所ヲ立シ所ナリ
 ○國後嶋
 擇捉ニ亞ク大嶋ナリ周廻凡百六十里(地誌提要四里七十一
 面積百四)

リ)東南西北ニ短ク東微北西微南ニ長シ東西兩嶺共ニ聚落
 アリ十六年一月戸數六十七人口二百二十三物産ハ鱒、鮭、昆
 布、扇貝煎海鼠椎茸魚油等アリ高山四湖大小九アリ此嶋往
 昔山火縱燄シ爲メニ竹木悉ク燒失スト故ニ甚ク新炭ニ乏
 シ十一月ヨリ翌年三四月マテ結氷渡航頗ル難シト云フ
 ○醜丹島或ハ志古丹

(追補
参考)

根室國花咲郡ニ屬ス水昌島ノ東北凡十四里ニアリ根室港
 ナ隔ル凡二十五里(或ハ三)周廻四十九里(地誌提要周廻二十
 一里面積二)志古丹ヲ除ク
 外空原荒野庶草繁茂スト然レハ昆布叢生シ夏秋ハ根室
 厚岸ノ人民多ク此嶋ニ徙リ昆布ヲ採ル夏時ハ瘴霧深ク冬
 時ハ堅氷凝結シテ海陸路ヲ兼スト云フ又聞ク往昔土人數

百人居住シ番屋五所アリ連年不漁花咲ニ移リ又多ク死亡
スト云フ

○水昌島

前同郡ニ屬ス納紗布岬ノ東微北凡二里ニアリ周廻十里昆
布ノ產地ニシテ土人此嶋ニ來リ採收スルモノ多シト云フ
○志發島シツ○多樂島タラク

二嶋花咲郡ニ屬ス志發ハ周廻十二里余多樂ハ周廻七里余
其他同郡ニ屬スル嶋嶼八アリ「ワキル」島「モシリカ」島「アキ
ワキル」嶋「ハルカル」コタ「島辨天島」トモシリモシリ「島」ハ
ボマイモシリ「嶋」ボマハボマイモシリ「嶋」是ナリ辨天嶋周廻
九町余其他詳ナラス又同國野付郡ニ一嶋アリ「ニシヨ」嶋ト
云フ又氷路志ニ依ルニ大小九嶋アリト云フ而シテ小高「イ

マシヒ、黒百合、リウル、等ノ嶋名ヲ載ス此嶋同フテ稱呼一
ナラサルモノアリ且ツ此邊小嶋頗ル多ク概テ未ダ實測ナ
經サルカ故ニ其詳ヲ知ル能ハス

○霧多布嶋キリダフ○嶮暮歸島クサツケ

此二嶋ハ釧路國厚岸郡濱中港ノ前海ニ在リ霧多布ハ周廻
約一里アリ寶曆年代商船多ク此嶋ニ來リ納紗布、知床、國後、
ノ土人來リ交易ス故ニ三所ヲ霧多布領ト稱ス

嶮暮歸ハ霧多布ヲ距ル西凡二十町ニ在リ周廻詳ナラス

○由留里島ユルリ○母由留里島モユルリ

厚岸郡ノ東部落石灣ノ前海ニアリ小ナルモノヲ母由留里
ト稱ス此他該嶋近傍二三ノ小嶋アリ

○辨天嶋ハントウ○喜物邊島キモノヘ○晴田島ハルタ○彌雲野津島ヤクモツ○西休島ニシヒ

右辨天島ハ根室港門ニアル一小嶋ニシテ周廻九丁餘ニ過
キス燈臺ヲ設置スルハ此嶋ナリ喜物邊以下ノ四島ハ野付
湖中ニアル洲島ナリ水路誌ニ依レハ喜物邊ハ雉兔群集シ
晴田ハ土人菜草ヲ蓋藏シテ常食ニ供スト周廻皆詳ナラス
○大黒嶋○牡蠣島

厚岸郡仙鳳趾灣ニ對シ床潭岬ノ南ニアリ高三百七十尺周
廻凡三里峻壁峭立赤楊繁稠シ昆布ヲ産ス別ニ一小嶋アリ
舟子等大ナルモノヲ大黒小ナルモノヲ小大黒ト稱セリ
ト云フ(蛭子島ナラフモ)牡蠣島ハ内部厚岸湖中ニアリ牡蠣
凝着遠望スレハ霜雪ノ如シト有名ノ牡蠣鑑誌ハ此湖島ヨ
リ採取スルモノナリ水路誌ニ依レハ五嶋アリト雖モ小嶋
ハ湖ノ干瀆ニ從テ隠見スル礁石ナルカ故其實五六ノ少數

ニ非スト云フ

○利尻嶋

即チ利尻郡ナリ北見國宗谷郡濃斜布岬ノ西南ニアリ宗谷ヨ
リ三十一海里禮文嶋ヲ距ル六海里嶋ノ中央ハ北緯四十五
度十分十五秒東經百四十一度十三分三十秒ニ當ル周廻凡
十五里十六町余(地誌提要九里三)十六年一月戶數九十社一
人口五百四十六アリ全嶋ヲ六村ニ分ツ(前文郡村ノ)物産ハ
鮭、鱈、海鼠、薪、木材各種ノ蔬菜アリ

○禮文嶋

即チ禮文郡前同國利尻嶋ノ西北凡六海里ニアリ宗谷ヨリ
凡三十六海里余北端北緯四十五度二十六分三十秒東經百
四十度五十六分周廻凡十六里余(地誌提要十二里)十六年一

月戸數九十社一人口六百六十九全嶋ヲ四村ニ分テ(郡參村ノ)物産ヘ利尻嶋ト大同小異ナリ

○燒嶋○天賣嶋

二嶋相並ヒ天鹽國苫前郡苫前ノ西北ニアリ燒嶋ハ苫前ヨリ相距ル海里十三里周廻三里二十町余中央北緯四十四度二十五分三十五秒東經百四十一度二十一分二十秒十五年一月戸數六十八社一人口二百六人アリ天賣嶋ハ燒嶋ヨリ海里凡十六里餘ヲ距テ周廻二里二十五町余中央北緯四十四度二十五分東經百四十一度二十六分十五秒同上戸數二十六社一人口九十三アリ

○奥尻嶋

即チ奥尻郡後志國久遠郡久遠村ヨリ海里凡十五里余周廻

十五里三十二町余東西三里三町南北五里十八町面積凡九方里十七年一月戸數五十九人口二百六十二全嶋ヲ四村ニ分ツ物産專ラ海産ニアリ鰯、海鼠、鮑、鱈、昆布、薪、炭、等ナリ舊時ハ勤番所ヲ此ニ設ケ病院出張所ヲ置ケリ郡區改正後郡役所ヲ久遠ニ設ケ本郡ヲ管理ス一説ニ云フ享徳三年武田信廣ノ蝦夷ニ入ルヤ舟師ヲ率ヒ此嶋ニ來リ蝦夷ヲ攻メ蠣崎氏防禦力盡キテ降ルト舊幕府安政年間奉行ヲ置クニ及ンテ徒刑人ヲ置クノ地トス

○大嶋○小嶋

二嶋共ニ松前郡ニ屬シ大嶋ハ同郡江良町村ノ西二十七海里ニアリ東西一里八町三十間南北三十一町三十間周廻凡三里十一町十四間北緯四十一度三十分十秒東經百三十九

度十九分全嶋樹木ナク火山ノ消盡セシモノナリト云フ山
積海面上二千四百六十尺海狗四時群ヲ爲シ山腹ニ鳥(方言
ゴメ)ノ巢窟夥多アリ○小嶋ハ松前ノ西微南十二海里ニ在
リ東西十六町四十間南北十二町周廻凡一里二十二町二十
三間山頂海面上千十尺樹木繁茂シ鳥ノ巢窟大嶋ニ比スレ
ハ一層多シ松前邊卵子ヲ市上ニ鬻クモノ皆此嶋ヨリ採ル
モノナリ

○鷗嶋

江差港門ニアル一小嶋ナリ海岸ヲ距ル僅カニ二百三十間
余東西三町二十八間南北七町四十六間周廻二十五町余ニ
過キス

○大黒嶋

室蘭港門ニアル一小嶋周廻僅ニ六町ニ過キス安政年間米
人彼理ノ日本紀行ニ往昔同國ノ船將武老嶋ノ部下於辣損
死シテ葬ル所ナリ故ニ名ケテ於辣損嶋ト云フト北海道志
ニ載セリ(室蘭港ノ部)

○得撫嶋 共三島

本嶋以下ハ明治八年樺太千嶋交換ノトキ我版圖ニ歸シタ
ル十八嶋ノ内ナリ此島ハ其最南ニアル三島ニシテ得撫郡
ト稱ス第一嶋ハ長サ凡五十七里幅廣キハ凡十四里狭キハ
凡七里北緯四十六度五分五十六秒東經百五十一度十一分
二十七秒西南十一海里ヲ隔テ擇捉嶋ノ藥取郡ニ對ス港灣
小舟港(港見ノ部)アリ土地ハ極メテ山岳丘陵多シト雖モ
他ノ諸嶋ニ比スレハ膏腴ナリト云フ物産ハ海草ニハ黒菜、

裙帶菜、鹿角菜、陸草ハ秋冬、百合、木ハ水松、樺、赤楊、魚類ニハ
紅鱒、獸類ハ海獺、海馬、海豹、狐、等ナリ交換ノ時此嶋ニアレウ
トト人三十三人十一戸ヲ爲シ未タ其去就ヲ決セザリシガ
後十一年八月我官吏該嶋ヲ巡視スルニ當テ一人モ在ラサ
リシト云フ蓋シ露國ノ迎船來テ移轉セシメタルモノナラ
ン現今松前ノ栖原小右衛門年々該嶋ニ於テ漁業(鱒漁ヲ重
トス)ニ從事セリ

○チエルポイ嶋 第二島

得撫嶋ノ東北ニ位シ距離十一海里ニアリ二個ノ小嶋連絡
ス

○プロトン嶋 第三島

チエルポイノ西北十海里ニアル一小嶋ナリ

○新知嶋 共三島

即チ新知郡ニシテ西南海峽凡五十六里ヲ隔テ得撫嶋ニ對
シ東北海峽凡十六里ヲ隔テ本郡第二嶋ニ對ス北緯四十七
度九分四十五秒東經百五十三度十三分五十一秒長サ凡二
十八里幅六里乃至三里峯岳多ク其間小樹林アリ港ハ「プロ
トン」港(港見部)アリ海陸草木ハ得撫嶋ト大同小異魚介ハ鱒、
鱈、栗貝、等アリ獸類海獺、海馬、海豹、狐等ニシテ狐ハ黒、赤、斑ノ
三種アリ野鼠極メテ多シト云フ交換ノ際アレウト人種
五十九人アリ十三戸ヲ爲セリ去就ヲ決セシムルニ及ンテ
皆露國ニ去レリト聞ク

○チトイ嶋 第二島ナリ

西南海峽ヲ隔テ第一嶋ニ對シ東北海峽凡十三里ヲ隔テ第

三嶋「ウシ、ル」嶋ニ對ス東西凡六里南北二里半ニ過キス嶋
上山嶽多シ海岸巉岩船舶碇泊ニ便ナラスト云フ

○スレト子ハ嶋○ウシ、ル嶋 第三島ナリ

二嶋連接スルヲ以テ併セテ第三嶋ト稱ス西南チ「ウシ、ル」
ト云ヒ東北チ「スレト子ハ」ト云フ「ウシ、ル」ヨリ西南海峽凡
十二里ヲ隔テ第二嶋「ケトイ」ニ對シ東北ハ海峽凡五里ヲ距
テ新知郡「ラスコケ」(島是ナリ)ニ對ス樹木少ク嶋峯峭立遠望
スレハ一岩巖ノ如シト云フ其長^{西南}凡三里其幅七八町
乃至三四町二嶋ノ連絡ハ小岩相續キ凡四町ニ過キスト云
フ

○ラスコケ嶋又「ラシユウ」ト云フ
第四島ナリ

東北海峽凡十七里ヲ隔テ第五嶋「マツア」ニ對シ東西凡六里

南北亦之ニ同シ

○マツア嶋

北海峽凡五里ヲ隔テ、第六嶋「ライコケ」ニ對ス南北凡八里

東西凡四里

○ライコケ嶋

東北凡二十三里ヲ隔テ占守郡第九嶋「ムシル」ニ對シ東西凡

三里半南北凡三里

○占守嶋

(追補
参考)

即チ占守郡九嶋ノ第一嶋ナリ北緯五十度四十三分二十五
秒東經百五十六度十一分五十七秒東北露國東察加南端ノ
「ロバートカ」岬ニ對シ西方ハ二十二海里ヲ距テ第二嶋「アラ
イト」ニ面ス其西南ハ小クリル海峽ヲ挾テ「バラムシムル」嶋

一隣ル又南ニ鳥嶋ト名クル一小嶋アリ而シテ本嶋ハ地勢南北ニ長ク東西ニ短シ東北ヨリ西南凡十五里西北ヨリ東南凡十里嶋中ハ高山ヲ見ス平坦原野沼澤アリ清泉アリ良好ノ飲水ヲ得物産ハ陸草ハ薺、莖花菜、瞿麥、野豌豆、コシヤク、蒲公英、蝦夷菊、木賊、虎杖、其他種類多シ海草ハ昆布、鹿角菜、裙帶菜、ノ數種アリ木ハ五鬘松、尺楠木、楊、檜、其他灌木アレトモ概シテ短小家屋營工材ニ乏シト云フ魚貝ハ鱈、カヂカ、比目魚、鮭、紅鱒、海扇、刺螺等ナリ鳥獸ハ鳥、鷹、赤狐、野鼠、海馬、海豹、獺、サ、チツブ、ノ類又砂鐵、石英、雲母、花岡石、等堆積スル地アリト交換ノ際村ヲ爲ス二所一ハコタンニ一ト稱スル西北部湖水ノ流末海濱ニアリ一ハナボイヲ灣ノ畔ニ住ス戸數(明治九年)九戸ニ七戸ヲコボインチニ人口(同上)三十五人總テクリル固有ノ

人種ナリ十五年十月官吏巡視ノ際現員二十八人外ニ露人七人寄留セリ

○アライト嶋 第二島

東ハ第一嶋占守ニ對シ南第三嶋「バラムシル」ニ面ス南北凡七里東西凡六里ニ過ス本嶋ハ周廻斷崖唯南部ノ丘陵稍低海ニ突出スルノミ他ニ岬角ナシ山ハ高程「バラムシル」ノ諸岳ト相同フシテ夏時山々白雪ヲ載キ峨々トシテ中天ニ聳立シ樹木尤少ク險惡ノ爲メ舟ヲ近クモノナシト云フ

○バラムシル嶋 第三島

東北ハ小クリル海峡ヲ挾テ第一嶋ニ接シ其西南ハ「アンヒ」トトライト「海峡」ヲ隔テ「チチコメン」ノ東北角ニ面シ北西ハ第四嶋(二十七里沖)ニ面ス北緯五十度十分東經百五十五度

十八分九秒(嶋ノ南西)本嶋ハ長サ凡五十八里幅十一里乃至十八里得撫以北ノ最大嶋ナリ東北端三峯聳立シ最高ハ海面ヨリ三千尺ニ下ラス航海者ノ標的トナスベシ港灣ナク海岸絶壁且岩礁出沒シテ小舟ヲ礙スルニ便ナラスト云フ小クワル海濱南西端ヨリ五六里ヲ隔テ西北ニ一嶋アリ「シレンキ」ト稱ス周廻凡六里アリ從來「パラモシル」嶋ニ併テ之ヲ稱ス物産ハ新知嶋ト大同小異ナリト云フ

○マカソルシ嶋 第四島

東北海峽二十七里ヲ隔テ第三嶋「パラモシル」ニ對シ東南ハ第五嶋「チネコタン」ニ面ス東西凡六里南北凡四里西南ニ一

○チチコタン嶋 第五島

東北第三嶋「パラモシル」ニ對シ其西北ハ第四嶋「マカソルシ」ニ對ス又西南ハ海峽九里ヲ隔テ第六嶋「カイレンコタン」ニ隣ル長サ北々東ヨリ南々西凡二十四里幅五里乃至十里本嶋北面ニ六灣アリ第一第二ノ灣ハ詳ナラスト雖モ第三灣ハ海濱東ヨリ西長キコト四町許一河アリ河口廣サ四間砂礫點々露出ス此ニ往古土民穴居ノ跡アリ此灣ハ灣入スルコト甚タ深カラスト雖モ水瀕砂地小舟ヲ礙スルノ便アリ第四灣ハ灣内廣サ僅ニ二町ニ過スト雖モ北面ニテハ第一ノ良灣ニシテ中央ニ一小河アリ廣サ二間半此處モ往古土人居住セシト見ヘ河ニ沿ヒ屋柱(土室ノ四面)ノ朽腐セルモノアリ一阜丘ノ上ニ土室戸扉尙存シ其去ル近キニアルヲ徵セリト云フ第五灣ハ第四灣ヨリ東北海涯ニアリ水底皆

磐石ニシテ退潮ニハ深サ二町有餘ノ沖ニ出ルモ六尺ニ滿
 ズ故ニ小舟ヲ織スルコト能ハス灣内ニ一大流アリ河ニ
 遡ルニ二町餘ナレトモ其廣サ四間餘アリ南向澤ヲ繞ツテ入
 ル一六七町東西ノ阜陵相距ル約四町其中央ハ平野ナリ第
 六灣ハ陸地ヲ去ル凡十町許ニシテ深十尋ナリ潮流甚々遅
 ク殆ソト池ノ如シト云フ又南面ニ一大灣アリ
 本嶋ハ嶋上ニ四峯中立シ其一ハ南西端ニアリ他ノ三峯ニ
 比スレハ四分ノ一ナルヘク其二ハ北西第三灣ノ南部ニ在
 ルモノニシテ四峯中ノ最高トス其三ハ北面ニ位シ又其四
 ハ南部ノ海岸ニアリ断巖屏ノ如クコトニ險惡ナリト云フ
 此灣ハ第四峯ノ下ヨリ西々南ニ弧形ヲ爲セリ内部ニ一大
 丘陵アリペンキ塗ノ破船材ヲ以テ造營セル家屋二十戸ア

リ室内ニ魯文數語ヲ書記スレトモ悉ク讀ムヲ得ス此レ數
 年前魯船難破一時假屋ヲ設ケ歸國ノ便宜ヲ待タルモノナ
 ルベシト云フ而シテ天度ハ第三灣河ノ西南ニ於テ北緯四
 十九度二十七分五十六秒東經百五十四度四十一分九秒ニ
 當リ草木類ハ大抵新知郡第一嶋ニ同シ

○カイレムコタン嶋 第六島

東北ハ海峽凡九里ヲ隔テ第五嶋「ナチコタン」ニ對シ西南ハ
 海峽北三里ヲ距テ第七嶋「エカルマ」ニ面ス東西凡八里南北
 六里

○エカルマ嶋 第七島

東北東ハ海峽凡二十三里ヲ隔テ第六嶋「カイレムコタン」ニ
 對シ東南ハ海峽五里ヲ距テ第八嶋「シヤスココタン」ニ面ス

東西凡四里半南北四里西方ニナリンコタント稱スル一小嶋アリ海中ニ峙ツ本嶋ニ屬スルモノナリ

○シヤスコマン嶋 第八島

東北ハ「ユカルマ」ニ面シ西南ハ十三里ヲ距テ「ムシル」ニ對ス長サ凡十三里半幅廣キハ凡六里狭キハ四里此嶋ニモ土室ノ跡ニケ所十九戸アリ往古土人ノ居住セシモノト見ユ南北二灣アリ北灣ハ北ヨリ西ハ「エカルマ」ナリンコタン」ノ二嶋之ヲ遮リ東ハ本嶋ノ岳ニ依リ西南ハ同シク丘陵ヨリ西位ノ岳ニ依テ水面大ニ穩ナリ東西二岳アリ皆噴火樹木短小海涯ハ温泉數所ヲ沸騰ス南灣ハ詳カナラス草木類ハ新知郡ト大同小異ナリ

○ムシル嶋 第九島

海中散在ノ四嶋ヲ併セテ第九嶋トス皆小嶋ニシテ幅員一里半ヲ出ズ東北ハ海峽十三里ヲ隔テ第八嶋ニ對シ西南同二十三里ヲ隔テ新知郡第六嶋ニ面ス
以上嶋嶼ノ概略ヲシテ千嶋ノ内得撫以下ハ明治九年派出官探討ノ實況ヲ聞キ且爾後ノ景況ヲ折衷シテ大畧ヲ記スルニ止ル

○第十三款 港灣ノ景況

本道港灣ノ良好ナルモノ甚タ多カラスト雖モ先ツ其概況ヲ述レハ左ノ如シ

函館港 本港ハ今ヲ距ル二十二年前即チ安政六年六月ノ開港ニ係リ本邦五港ノ一ニ居リ全道第一ノ要港ナリ渡嶋國ノ南部ニ位シ北緯四十一度四十六分三十秒東經一

百四十度四十四分四十四秒(磯候所)ニ當ル港内燈明船(磯丸)ノ内部南北約一里六丁東西二十一丁深サ四尋乃至七尋最深キハ十三尋其外部海口ハ南西ニ向フ其全体ノ地勢斗入スルヲ三十町余彎曲巴字形ヲ爲ス巴港ノ雅名アル所以ナリ船舶ハ西洋形漁船帆船常ニ數十艘ヲ泊シ日本形船ハ小ナクモ百四五十艘多キハ三百艘ニ至ルヲアリ○北海道水路誌ニヨレハ四時安穩底質最モ佳ニシテ砂礁少ク錨爪爬入シテ走ラスト而シテ辨天砲壘ノ東邊ハ礁石及淤沙背アリ燈船戒礁丸ヲ置テ標示ス○港内波止場ハ數ヶ所アリ其重ナルモノハ東濱町外國船(内國人上陸所)モ亦此所ニアリ(豐川町西濱町等ナレトモ皆海岸尋常ノ荷揚場ニシテ埠頭ト稱スル程ノ結構ニアラス

但函館稅關構内ニアルモノト船改所ニ屬スルモノハ稍構造整頓スルモノナリ三菱會社亦支店構内ニ之ヲ造ル○港ノ淺深ヲ知ラシムルカ爲メ浮標三箇ヲ設置ス○船舶ノ出入ハ年々同シカラスト雖モ昨十六年漁船出入一千八百壹艘風帆船出入千貳百貳艘日本形船出入八千六餘艘外ニ外國漁船風帆船出入各若干艘アリ而シテ之ヲ既往ニ徵スルニ西洋形ハ年々増加シ之ニ反シ日本形ハ次第ニ減スルカ如シ(船改所)○船改所アリ輸出物產ヲ檢査シ出港稅ヲ收メ兼テ港内内國船ノ取締ヲ爲セリ
 椴法華灣 同國龜田郡椴法華村ニ屬ス惠山ノ北五里ニアリ海岸東ニ面シ灣入ス
 森灣 同國茅部郡ノ北岸ニシテ灣ハ室蘭港ト南北相對シ

北緯四十二度六分四十一秒東經百四十度三十六分十五秒ニ當ル灣ノ廣サ約四町方位北ニ面シ灣内深三尋乃至八尋底質軟沙ニシテ錨爪爬入ス○埠頭ハ木造ニシテ長百四十一間四尺幅三間三尺アリ明治五年七月開拓使新道ヲ札幌函館ノ間ニ開設スルニ當リ建築學ニ有名ナル米人メナヨロイ氏ヲシテ此工事ヲ負擔セシメタルニ同氏初メ砂原村(森ヨリ凡ニ築カントセシカ更ニ此地ヲ相シテ築造(費用貳セリト云フ深淺ハ潮流ニ從ヒ一定ナラスト雖モ退潮ニハ深サ一丈八尺五寸滿潮ニテ二丈三尺アリ大船直ニ下錨スルヲ得爾來室蘭ヨリ住復スル漁船ハ皆此ニ下錨セリ○出入船舶ハ漁船室蘭ヨリ定期往復シ外ニ風帆船若干艘ヲ泊ス然レハ平時碇泊スルモノ甚

稀ナリ

白尻灣 前同郡ノ東部ニ屬シ森村ヲ距ル十一里十八町余海岸北東ニ面シ灣内廣狹詳ナラス深凡八間北緯四十一度五十五分五十六秒東經百四十度五十八分四十五秒ニ當ル

當別灣 同國上磯郡石別村(舊名當別村)ニ屬ス函館ヲ距ル六里余北緯四十一度四十四分三十九秒東經百四十度三十七分二十三秒方位南東ニ向フ深未測○船舶出入ハ日本形一ヶ年百四五十艘アリ○船政派出所ヲ置キ(毎月五下皆同シテ以)産物ノ出港ヲ檢査シ出港稅ヲ收ム
 福嶋灣 同國松前郡ノ南岸ニ位シ北緯四十一度二十八分十二秒東經百四十度十七分十七秒ニ當ル灣ノ廣サ約六

町深十間半方位南東ニ向フ
 吉岡灣 前同郡福嶋ト相距ル僅カニ一里西ニアリ北緯四十一度二十一分二十秒東經百四十度十六分灣内約三町方位南東ニ向フ○出入船舶ハ甚ク多カラスト雖モ毎年出入各百五十艘内外アリ○船改派出所ヲ置キ出港産物ヲ検査シ稅ヲ收ム

福山港 前同郡ノ南部ニ位シ本道最南ノ港灣ナリ或ハ松前港ト稱ス福嶋ト相距ル西五里其東南ニ白神岬アリ陸奥ノ龍飛岬ト南北相對ス北緯四十一度二十五分四十一秒東經百四十度八分三十二秒ニ當ル港内東西凡十四町南北十町深サ六尋ヨリ十四尋ニ至ル港口南ニ向フ海底ハ砂石海岸ハ平盤石ナリ○該地ハ往昔松前藩ノ城下ニ

シテ海關ヲ此ニ置キ船舶出入ノ多キ全道第一ニ居レリ今ヤ士民四方ニ散シ昔日ノ繁華ヲ見ル能ハスト雖モ渡嶋國中函館江差ニ亞クノ地ナリ○昨十六年ハ西洋形瀛船出入二百六十八艘同風帆船出入六十三艘アリ本年ハ該港ト函館間ヲ往復スル小瀛船増加シタレバ一層出入ノ多キヲ見ナルベシ○船改所アリ出產物輸出ヲ檢シ出港稅ヲ收ム

江良町灣 松前郡ニシテ福山ノ北五里ニ在リ北緯四十一度三十二分二十八秒東經百四十度一分十五秒東西一丁二十八間南北五町十二間深二十四尋二尺灣口南西ニ面ス是地亦當別等ト同ク船改派出所ヲ置キ夏秋產物ノ出口ヲ検査ス

江差港 同國檜山郡ノ北部ニ屬シ福山ヨリ北十八里爾志郡乙部村ト相距ル僅カニ三里餘ニ過ス北緯四十一度五十二分十秒東經百四十度八分三十秒ニ當ル港ノ廣サ東西凡六町南北十町深五尋乃至七尋方位北及ヒ東南ニ向フ海底砂海岸盤岩或ハ砂濱○海岸ヲ距ル僅ニ二百三十間餘一島アリ鵜嶋ト云フ此間底質岩石深サ一尋ニ過キス島ノ東北碇泊場ハ約六七尋アリ船舶常ニ此ニ投錨ス○明治十六年ノ出入船瀛船出入六十六艘西洋形帆船出入四十八艘アリ此地ハ渡嶋國中函館ヲ除キ將來港市ノ繁盛ヲ期スル所ニシテ現今小樽ト伯仲セリ

熊石灣 同國爾志郡ノ北端ニシテ江差ヲ距ル凡九里北緯四十二度七分四十秒東經百四十度零四十五秒灣ノ廣サ

約五町方位南西ニ向フ○船舶ノ出入ハ甚タ多カラスト雖ヨ日本形一ケ年出入各三百餘艘アリ漁船ハ稀ニ出入アルノモナリ○船政派出所アリ出口産物ヲ検査シ稅ヲ收ム

室蘭港 膽振國室蘭郡ノ南部ニシテ森灣ト南北相對ス此港ハ明治五年函館札幌間ノ新道建築ニ際シ新ニ開港スルモノナリ故ニ新室蘭ノ別稱アリ北緯四十二度十九分三十一秒東經百四十度五十八分五十秒ニ當ル港ノ廣サ南一里深サ四尋乃至五尋港口方位西ニ向フ水路誌ニ依レハ底質極メテ佳ニシテ深サ四尋ヨリ七尋ニ至ルト云フ○港門ニ一小嶋アリ大黒嶋ト云フ嶋ノ右ニアル岬ヲ時雨崎ト云ヒ嶋岬ノ間概熊石碁布シテ船舶經航スヘカ

ヲス其左ニ一岬アリ月見崎ト云フ此岬近傍ハ深七八尋
 内部ハ十尋ニ至ルト云フ岬ヨリ三分ノ一ヲ航シテ繪朝
 ニ至ル又一灣アリ白鳥灣ト名ヲ○西洋形船ノ出入ハ森
 灣日々往復ノ外昨十六年中風帆船出入二百四十艘アル
 ノニ日本形ハ七十二艘ニ過キス○波止場ハ木造長二十
 六間半アリ森往復漁船此ニ接近碇泊ス又荷揚場一所ア
 リ○船政所アリ函館福山等ニ同シ

有珠灣 有珠郡ノ西部虻田郡ニ接ス室蘭ヲ距ル約五里北
 緯四十二度三十一分四十四秒東經百四十度四十七分十
 二秒ニ當ル港ノ廣サ南北凡十六町(一里ニ當ル凡四町五丁)深
 サ三尋乃至四尋港口方位南ニ向フ○本郡ハ伊達氏ノ家
 臣移住(移住民ノ部ニ詳ニス)一大部落ヲ爲シ農家多獲内

地ノ景況ニ異ナラス○出入船舶ハ十六年中西洋形漁船
 風帆船合計四十餘艘日本形ヲ合セテ百一艘アリ○紋監
 村ニ波止場アリ長六十間木造ナリ

勇拂灣 勇拂郡ニ在リ北緯四十二度三十七分五十二秒東
 經百四十一度四十四分十秒灣口南ニ向フ○出入船舶ハ
 十五年中三十一艘ニ過ズ

壽都港 後志國壽都郡ノ北部ニシテ北緯四十二度四十七
 分四十一秒東經百四十度十三分十秒ニ當ル港ノ廣サ東
 西三町南北五町深サ三十一尋ニ至ル海底盤岩及沙港口
 北ニ向フ本港ハ壽都灣ノ一部ヲ云フモノニシテ本郡ト
 歌樂郡トノ間一大灣ヲ爲シ東西一里十五町南北一里六
 町正北ニ向ヘリ○船舶ノ出入ハ昨十六年中八百七十九

艘内西洋形ハ凝船出入四十一艘風帆船出入二十六艘アルノミ凝船ノ出入年々増加日本形船ノ減少スル景况福山港ニ異ナラス○船政所アリ福山江差ニ同シ

岩内灣 同國岩内郡ニ屬ス壽都ヲ距ル北約十里ニアリ北緯四十二度五十九分三十秒東經百四十度三十分四十五秒ニ當ル港内東西八町南北七町深サ七尋港口方位北ニ向フ○船舶ノ出入ハ明治十五年中出港三百六十二艘入港三百八十五艘ニシテ内凝船出入四艘ニ過キス○船政派出所アリ産物ノ輸出ヲ檢スル前ニ同シ

古平灣 同國古平郡岩内ノ東北約十二里ニアリ北緯四十三度十六分三十秒東經百四十度三十六分五十秒ニ當ル港ノ廣サ東西凡八町南北十四町港口方位東ニ向フ深

未詳○船舶出入ハ十五年中出入合計七百四十六艘内西洋形出入十艘アリ○船政派出所アリ前ニ同シ

余市灣 同國余市郡ニ屬ス古平ヲ距ル東五里余ニアリ北緯四十三度十二分二十秒東經百四十度四十六分ニ當ル港ノ廣サ南北凡十町東西凡七町方位東ニ向フ

忍路灣 同國忍路郡ニ屬ス余市ト相距ル東僅ニ二里余北緯四十三度十二分五十五秒東經百四十度五十三分港ノ廣サ東西凡二町深サ三尋方位北ニ向フ

小樽港 小樽郡ニ屬ス始手宮港ト稱ス明治五年六月小樽港ト改ム元來小樽高嶋兩郡ハ灣ニ沿フテ市街相連ナリ其間一小川(ナコバチ川)ヲ以テ兩郡ノ界トスルカ故ニ通俗二郡ヲ合セテ小樽港ト稱ス北緯四十三度十一分三十

五秒東經百四十一度五十五秒港内ノ廣サ東西十五町南
 北十町深六尋方位東北ニ面ス本港ハ全道中函館ニ亞ク
 ヘキ要港トス然レモ鐵道布設後小樽ノ繁華稍西ニ移リ
 手宮日ヲ逐テ繁盛ヲ致スト云フ○船舶ノ出入ハ十五年
 瀛船出入三百二十二艘其外風帆及日本形船ヲ合計スレ
 ハ四千五百七十五艘ナリ○船政所アリ產物ノ輸出ヲ檢
 シ收税スル函館江差等ニ同シ
 埠頭ハ本港市坊ノ西端高嶋郡手宮町ニアリ此埠頭ハ札
 幌ヲ經テ幌内ニ通スル鐵道ニ連續スルモノコシテ結構
 極メテ堅牢(去十三年八月中竣功)全體木造ニシテ小舟二
 隻ヲ繫聯シ其上ニ抗打器械ヲ裝置シ築造セルモノナリ
 海岸ヨリ東南ニ向ヒ海水二十二尺餘ノ深サニ至ルマデ

突出構造ノ繫船柱ヲ打チ二個ノ錨標ヲ設テ繫船ニ便ニ
 ス其長サ一千四百四十尺内九百尺ハ幅二十尺其餘ハ四
 十尺トナリ海面ヨリノ高サ八尺其左側全幅ノ半ニ軌道
 ヲ設テ稍廣潤ノ所ニ至テ岐レテ二線トナル此レ列車ノ
 往復ニ便ナラシムルモノナリ入港船ハ大瀛船ト雖モ直
 ニ埠頭ニ横ハリ自由ニ貨物ヲ積込陸揚スルヲ得其便利
 固ヨリ喋々ヲ待タス

日方泊灣 久遠郡久遠村ニ在リ北緯四十二度十三分十五
 秒東經百三十九度五十一分三十秒東西一丁十八間南北
 一丁十五間灣口南西ニ向フ○出入船舶ハ日本形ヲ重ト
 ス稀ニ寄錨スル瀛船アリ

茶津灣 岩内郡ニ在リ灣口西ニ向フ深七尋餘其他詳ナラ

大

泊灣 古宇郡ニ在リ灣口西ニ向フ深七尋餘其他同上

伊奴留以志灣 前同郡深凡五尋灣口西ニ向フ

船澗村灣 美國郡ニ在リ灣口北東ニ面ス

石狩灣 石狩國石狩郡石狩河口ヲ云フ此ハ全道第一ノ大

川(河部參川考)ニシテ有名ノ鮭漁場ナレハ毎年漁期即チ九十

兩月ハ大小船舶輻湊セリ北緯四十三度十四分五十七秒

東經百四十一度二十一分四十秒ニ當リ河口ノ廣サ東西

四町南北十町深サ一尋乃至五尋小漁船ハ十里餘遡航ヲ

得ヘシ其方位北ニ向フ船舶出入ハ十五年中千三百三十

一艘内西洋形出入百〇四艘ナリ〇船改派出所アリ出產

物ヲ檢シ收税スル前ニ同シ〇河口ノ改良事業ハ前年來

和蘭人水利工師フアンケンド氏之ヲ擔當シ精細ノ測量

ヲ爲セリト雖モ其後中止セリ

增毛灣 天鹽郡增毛郡ニ屬ス或ハ幌泊ト稱ス此地ハ天鹽

國ノ要港ニシテ北緯四十三度五十一分三十六秒東經百

四十一度三十分十五秒ニ當リ港ノ廣サ東西凡十二町三

十間南北凡七町深サ三尋半或ハ云フ六尋方位北ニ向フ

出入船舶ハ十五年中入百九十艘出百九十七艘アリ内西

洋形漁船出入各三十七艘アリ〇船改派出所アリ出產物

ノ出口ヲ檢シ收税スル前ニ同シ

留萌灣 同國留萌郡ニ屬ス增毛ニ亞リ要地タリ北緯四十

三度五十七分二十五秒東經百四十度三十六分二十五秒

灣内廣々東西七町南北之ニ準ス方位西北ニ向フ出入船
舶ハ十五年中入五十七艘出六十七艘内西洋形ハ出入各
二艘ナリ概テ留萌川口ニ繫泊スト云フ

苦前灣 同國苦前郡ニ在リ北緯四十四度十八分二十秒東
經百四十一度三十六分四十五秒東西凡七町南北凡二町
灣口北ニ向フ

浦川灣 日高國浦川郡ニ屬ス北緯四十二度十一分東經百
四十二度四十四分五十秒灣ノ廣東西五町深ニ尋半方位
西南ニ向フ井塞臺村ノ岬角海ニ斗出シ灣勢ヲ助ケ且礁
石灣側ニ起伏シ爲メニ舟泊ノ便ヲ得ルト云フ此地ハ日
高國中ノ一要港ナリ船舶ノ出入ハ西洋形風帆船ノ航通
(函館ヨリスル)年々増加スト雖モ漁船ハ稀ニ函館ヨリ往

復スルノニ〇船改派出所アリ前ニ同シ

襟似灣 同國襟似郡ニシテ浦川ヲ距ル約三里半ニ過キス
北緯四十二度六分三十秒東經百四十二度五十四分二十
五秒ニ當ル灣ノ廣々東西凡五町南北凡三町半港口方位
西ニ向フ東西二灣アリ半嶋斗出シテ之ヲ界シ東灣ハ深
サニ尋千石以上日本形船常ニ西風ヲ避ルノ便アリ西灣
モ亦小舟繫泊西風ヲ避クルニ宜シト云フ一ケ年船舶ノ
出入ハ浦川ト景況ヲ同フス

幌泉灣 同國幌泉郡ニシテ襟似ノ東南約七里ニアリ北緯
四十二度零五十四秒東經百四十三度八分三十七秒太平
洋ニ面スル最南ノ港灣ナリ灣ノ廣々東西二町南北三町
深々四尋港口方位西ニ向ヒ暗礁灣側ニ起伏シテ波濤ヲ

支フ船舶ノ出入ハ箱川ニ亞ケリ

小越灣 前同國同郡小越村ニ屬ス方位西南ニ向フ幌泉灣

ヨリ稍廣濶ニシテ海底ハ甚ク淺シ但日本形船ハ寄泊シ

テ西風ヲ避クルノ便アリ○又同郡油駒村ニ一灣アリ方

位西ニ面ス灣内狹小ニシテ數艘ノ日本形船ヲ泊スルニ

過キス

淨内灣 前同國靜内郡ニ在リ灣口西南ニ向フ深淺廣狹其

他詳ナラス

釧路灣 釧路國釧路郡ニ屬シ北緯四十二度五十八分三十

六秒東經百四十四度二十三分ニ當ル小岬斗出灣勢ヲ助

ケ廣五町深サ八尋方位西ニ向フ岬ノ近傍暗礁甚布シ船

舶多少碇泊ヲ得ヘシト雖モ時ニ或西風ノ難アリ良灣ト

爲スニ足ラス○船舶ノ出入ハ十五年中漁船出十二艘風

帆船出入百一艘其他ハ日本形船百三十餘艘而シテ此地

ヨリ東三里二十七町ヲ隔テ昆布森ト稱スル一村アリ船

舶ノ此ニ出入スルモノ十五年中漁船出入各五艘風帆船

及日本形ハ若干艘アリ釧路ト唇齒ノ關係アルヲ以テ此

ニ併記ス

仙鳳趾灣 同國同郡ニ屬ス厚岸ヲ距ル五里五町釧路ヲ距

ル凡九里半厚岸港内ニ接續シ大黒嶋ニ對スル海濱ナリ

幅二十町許東南ニ向ヒ深サ三尋乃至十尋厚岸ニ比スレ

ハ平穩ナラスト雖モ多少ノ船舶入泊シ風順ヲ候スルヲ

得ヘシ

厚岸港 同國厚岸郡ニ屬ス東海岸著名ノ良港ニシテ北緯

四十三度一分二十八秒東經百四十四度五十二分十六秒
 ニ當リ東西三十二町南北二里十二町港口方位西ニ向ッ
 水路誌ニ依レハ深大約三四尋底質佳良ニシテ錨爪爬入
 ス又北岸ハ沙渚漸ク低ク礁石蟠伏ス故ニ港廣クシテ泊
 地狹シト云フ港門ノ西岬ヲ仙鳳趾岬ト名ク(釧路郡)其東
 南暗礁一帶大ニ波浪蕪掀ス東岬ヲ床丹岬ト稱シ内部ニ
 在ルヲ磐螺山ト名ク其東南ニ方テ二嶋アリ大ヲ大大黒
 小ヲ小大黒ト呼ヘリ其中間ハ礁石參差羅布シテ一小舟
 ニ尙通スル能ハス又内部ニ一大湖アリ山溪九條下流皆
 之ニ注入ス湖中五嶋アリ悉ク牡蠣凝着ス所謂牡蠣嶋是
 ナリ○船舶ノ出入ハ専ラ夏秋ニアリ十五年ハ漁船出入
 各十三艘風帆船出入各四十三艘日本形ハ僅々十餘艘ニ

過キス但本港ハ根室函館間往復ノ漁船往々寄碇シ大ニ
 ニ運輸ニ便ナリ○船政所アリ前ニ同シ○明和三年外國
 船初テ來泊シ安永七八兩年及寛政八年又來泊ス和蘭人
 ハ此港ヲ喜望港ト稱スト云フ

濱中灣 同郡ニアリ厚岸港ヲ距ル九里餘北緯四十三度五
 分東經百四十五度七分ニ當リ東西三十四町南北一里十
 五町灣口南東ニ向ッ本灣ニ接シ霧多布、嶮暮歸ノ二嶋ア
 リ而シテ霧多布ハ東ニ面シ自然ニ灣形ヲ爲セルカ故ニ
 灣内廣濶風浪ノ險ナク大小ノ船舶ヲ碇泊スルヲ得ヘシ
 ○船泊ノ出入十四年ハ漁船出入二十四艘風帆船同八十
 餘艘アリ日本形百石以上ハ出入各十六七艘ニ過ス同十
 五年出入各十五艘其他ハ前年ト大同小異ナリ○船政派

出所アリ前ニ同シ

落石灣 厚岸郡ノ東端ニアリ根室ヲ距ル凡六里灣ハ北ニ
向ヒ甚メ廣濶ナラスト雖モ深サ五六尋數隻ノ和船ヲ碇
泊スヘシ嚴冬コハ海汀五六十間氷結スト云フ然レトモ
繫船ニ妨ナシ

根室港 根室國ノ東部ニシテ北緯四十三度二十分東經百
四十五度三十五分ニ當リ西北ハ野附西別ニ對シ北微東
ハ國後ニ面シテ一港ヲ爲ス港内廣サ東西六町南北七町
深サ三四尋港口方位北ニ向フ港門コ一小嶋アリ辨天嶋
ト云フ東北ニ燈臺アリ水路誌ニヨレハ嶋東ハ深フシテ
船舶通行シ嶋西ハ礁脈沙背紛錯シテ殆ント航路ヲ絶シ
港内ハ底質醜ニシテ錨爪爬入シ難ク港門狹窄往來便ナ

ラスト云フ而シテ港ノ東西陸地ハ平原ニシテ海岸ハ巖
石起伏ス又西北ノ風患アリ軍艦等ハ概テ嶋ノ東方ニ依
泊シ商船ハ島南ニ碇泊スト云フ○十四年ノ出入船ハ出
二百艘入二百七艘ニシテ内漁船出五十四艘入五十三艘
風帆船出百二十八艘入百二十九艘其他ハ日本形トス十
五年ハ漁船稍増加シ出六十四艘入五十三艘アリ風帆船
出百十六艘入百九艘日本形五十石以上出二十二艘入二
十七艘其以下小船出入數百艘アリ船舶晚春ヨリ入港シ
夏秋尤多シ○船改所アリ函館等ニ同シ
西別灣 根室野付兩郡ノ間ニアル西別河口ヲ云フ水路誌
ニ依レハ納沙布岬ヨリ西微北二十六海里餘ノ地ニアリ
河源二十里餘幅約ネ二百四十尺アリ河口ヨリ東北約二

鍵(二十餘ハ目)深五尋底質稍可ナリト雖モ甚ク淺フシテ通航ニ勞アリト云フ

標津灣 同國標津郡ニ屬ス灣門ハ東國後嶋ニ對シ其極東ニ知床岬アリ灣内深三尋乃至五尋平時買船甚々稀ニシテ秋時東部ヲ經航シ緯太ニ赴クモノ此ニ寄泊スルノ便アリト云フ

野付灣 同國野付郡ニ屬ス東ニ一岬アリ國後及ヒ納沙布岬ト相對ス北緯四十三度三十三分十一秒東經百四十五度二十七分三十六秒ニ當ル水路誌ニ依ルニ灣岸平沙汀際更ニ深ク岬前ニ淤沙背アリ錨地ノ深サ約三尋底質軟沙ニシテ錨爪爬入シ山嵐ヲ凌グニ宜シト云フ内部ニ野付湖アリ三灣一門ヲ成ヌ湖門ノ深サ二尋ヨリ三尋ニ至

商船此ニ依泊ス出入船甚々稀ナリ

魏丹港 本港ハ根室國花咲郡ニ屬スル十一嶋ノ一魏丹嶋(或ハ志古丹ト書ス)ニアリ北緯四十三度五十分十四秒東經百四十六度四十九分二秒ニ當リ港口方位北ニ向フ本嶋及他ノ諸嶋ハ夏秋ノ際昆布採收ノ爲メ茅屋ヲ構ヘ徒居スルモノ多シト雖モ春冬ハ人煙消絶スト云フ

網走灣 北見國網走郡ニ屬ス北緯四十四度二分東經百四十四度十四分三十秒東西凡五町南北凡十一町深五尋乃至十二尋方位東北ニ向フ出入船舶甚々稀ナリ

宗谷灣 同國宗谷郡ニ屬シ北緯四十五度二十九分十五秒東經百四十一度五十一分三十秒本道最北ノ港灣ナリ灣内東西四里南北同上深サ四尋乃至五尋半灣口北西ニ向

ノ船舶出入ハ十五年中汽船出入各一艘風帆船各三艘日本形ハ出入各四十艘許ナリ

枝幸灣 同國枝幸郡ニ屬ス北緯四十四度五十四分十五秒東經百四十二度三十三分ニ當リ廣サ東西凡十二町南北凡五町深三尋余灣口東北ニ面ス○船舶ノ出入ハ十五年中小大小二十艘以内ナリ

鷺泊灣 同國利尻嶋ニアリ濶凡二十町深凡四尋ヨリ十尋ニ至ル方位東ニ向フ

泊灣 千島國國後郡ノ西端ニアリ北緯四十三度二十五分三十四秒東經百四十五度五十一分水路誌ニ依ルニ其右岬ハ低フシテ長ク左岬ハ較高フシテ短ク荒艸繁蕪ス港内深三尋乃至五尋底質最佳ナリ其内部ハ山嶺綿亘シテ

北風ヲ防ク艦船二十商船二三百艘ヲ泊スルヲ得ヘシト云フ港門ハ南ニ向ヘリ

振別灣 同國擇捉嶋振別郡ニアリ北緯四十五度三分三十五秒東經百四十七度三十分四十六秒ニ當ル廣狹深淺不詳灣口西ニ向フ水路誌ニ依ルニ本嶋港十三アリ此灣ヲ以テ第一トス之ニ次クモノハ内保（厚提）老問（振別）有萌（紗那）ノ三所ニシテ留別、別飛（以上紗那郡）又之ニ次ク皆船舶ヲ碇泊スヘシト云ヘリ

右十三灣トハ振別以下六灣ノ外丹根（丹根）萌灣（振別）單冠（カッタ）灣（同）本萌（紗那）紗那灣（同）婉香灣（同）藻取灣（藻取）取乙今牛灣（同）マクヨマイ灣（同）等ヲ云フ歟

得撫港 同國得撫郡第一嶋ニアリ又小舟港（英稱）ト稱ス嶋

ノ東南部ニシテ東南ニ面シ廣ク東西五町南北四町深四尋半大艦ハ碇泊ニ便ナラスト雖モ小形ノ風帆船ハ碇泊スルヲ得ヘシ港口ノ西岸ヲ距ル殆ント五町有奇ノ海面ニ古墳狀ノ岩石アリ舟楫之ヲ認テ入港ノ目標トス故ニ海面ヨリ入港セントスル必ス此岩ヲ左舷ニ見ルヲ約五町既ニ港口ニ至レハ此岩ヲ船軸ニ見ル然サレハ港口ヲ誤ルト云フ又暗礁ハ古墳岩ノ西ニ多シト云ヘリ

鐘灣 前同嶋東北部嶋中四大山ノ一ナル鐘山南西脚下ニアリ北緯四十六度五分五十六秒東經百五十度十一分二十七秒ニ當ル灣口西北ニ向ヒ深サ十八尋底質砂礫多ク灣ノ東六小溪ヲ隔テ一岬アリ岬前約二町餘巨岩屹立五六丈灣西ニハ二灣三丘ヲ隔テ又雌雄ノ岩石アリ高各二

丈許其狀雄象ノ雌象ヲ率ヒ河ニ飲カ如シ岩ヨリ南々西ニ町許ヲ距テ凡方二町ノ暗礁昆布之ヲ掩ヒ小舟ヲ通スルヲ得スト云フ

プロトン港 同國新知嶋ノ北東部ニアリ「プロトン」英稱ニシテ露稱ハ「アレクサヤブトフネ」ト稱ス港口北ニ向ヒ幅二町半周廻七里港形ハ北ヨリ望メハ凹字形ヲ爲ス幅東西二里南北廣キ處二里狹キ處十四丁千嶋國第一ノ良港ナリト雖モ港門底質巨石多ク滿潮ノ中中央ニ尋ニ過キス其左右ハ一尋乃至一尋三分ノ一ナリ其水面昆布悉ク之ヲ掩ヒ短艇膠シテ進マズ港内ハ極メテ深ク五十尋ニ及フ所アリ其東部ハ交換ノ時土人ノ住居ヲ占ムル處ニシテ前灣十三四尋ナル處アリ灣ノ周廻山脈屹立屏障ノ

如ク大風起ルモ波濤平穩恰モ池沼ニ異ナラスト港門ノ
西岬日本岬北緯四十七度九分四十五秒東經百五十二度
十三分五十一秒ニ當ル

チボイ子灣 同國占守嶋ニアリ位置ハ嶋ノ西南部小クリ
ル海峡ニ屬シ「パラムシル」嶋ニ對ス灣口西方ニ向ヒ北緯
五十度四十三分二十五秒東經百五十六度十一分五十七
秒ニ當リ岸汀ヲ距ル九町許ニシテ深サ七尋乃至八尋ア
リ底質砂礫船舶ヲ碇スルニ便アリ峽ノ中流ハ滿潮ニハ
北行シ退潮ニハ南行ス其速力一時間三里ニ上下スヘシ
海峡中此灣ヲ第一トス次ハ對岸ノ「パラムシル」其次ハ「チ
ットマイ」灣ナリト云フ

チットマイ灣 「チボイ子」灣ノ對岸「パラムシル」ノ東部ニア

リ其弧形甚々深カラスト雖も前岸占守ノ西部ニ對シ僅
ニ九十纜ヲ隔ルヲ以テ海面尤平穩ナリ然レモ東風ニハ
「マイロツバ」灣ノ安寧ニ如カス其他ノ風位ハ皆避ルヲ得
ヘシ灣内深サハ十四五尋ニ至リ二流アリ其南ニアルハ
廣サ五間深サ四五尺之ヲ遡ル一町余深一尺乃至二三尺
アリ滿潮ニハ河水溢レテ芦葦ニ漲リ清フシテ飲料ニ供
スルニ至ル其北ニアル一流ハ廣一間深サ一尺ニ滿タス
亦清流ニシテ飲料ニ充ツヘシト云ヘリ

ヲチコタン灣 占守郡第五嶋「チコタン」ニ七灣アリ其一
灣ハ南西ニアリ最大ナリ其他ノ六灣ハ北面ニ在リ
シヤスコタン灣 占守郡第八嶋「シヤスコタン」ニ二灣アリ
其北灣ハ北ヨリ西ハ「エカルマ」チリンコタン」ノ二嶋ニテ

風ヲ遮リ東ハ本嶋ノ岳ニ依リ西南同ク丘陵ヨリ西位ノ岳ニ依テ水面穏ナリト云フ其南灣ハ灣形甚ク淺ク且波浪高シト云フ

以上港灣ノ大略ナリ此他船舶ヲ碇泊スルノ地位ナキコ非ス然レトモ港灣ト稱シ稍著名ナルモノハ概テ此ノ如キ其景况位置鑄地ノ適否等諸書載スル所精粗詳略一ナラス今僅ニ概況ヲ記シテ參考ニ供スルノミ

○第十四款 岬角ノ景况

岬角ハ全道海濱枚舉ニ違アラヌ今其著名ナルモノヲ掲ク經緯度ハ函館縣ノ實測ト曾テ舊開拓使備タリシ米國聯邦海軍大尉モルレリ、エス、デー、イ、氏ノ測量ニ依リ其岬角ノ尖端經緯度ヲ掲ク而シテ岬角斗出ノ間數ハ其詳確ヲ知ルナ

得サルカ故總テ省略ス

渡嶋國

汐首岬 龜田郡ノ南部小安村ニ屬ス陸奥ノ大瀨ニ對ス地質概岩石北緯四十一度四十二分東經百四十度五十九分三十秒ニ當ル

惠山岬 同郡ノ東端ニシテ根法華村ニ屬ス惠山ノ山尾ナリ地質岩石北緯四十一度四十八分三十五秒東經百四十一度十二分十秒ニ當ル

洲根子岬 檜山郡ノ南部ニシテ上ノ國村ニ屬ス地質岩石北緯四十一度四十七分二秒東經百四十度四分三十三秒ニ當ル

矢越岬 上磯郡ノ南端ニシテ小谷石村ニ屬ス地質岩石北

緯四十一度二十九分二十八秒東經百四十度二十四分五十三秒ニ當ル

白神岬 松前郡ノ南端ニシテ陸奥ノ龍飛崎ニ對シ著名ノ岬ナリ地質岩石北緯四十一度二十二分十六秒東經百四十度十一分四十九秒ニ當ル

砂岬 茅部郡砂原村ニ屬シ駒ヶ嶽ノ山尾ナリ地質砂土北緯四十二度八分二十六秒東經百四十度四十三分五十秒ニ當ル又此岬ノ東南鹿部村ニ一岬アリ「テキヤ」岬ト稱ス地質岩石又砂原村ニ松谷岬アリ

辨天嶋岬 松前郡福山市街ノ西端ニシテ辨天嶋ノ尖角ヲ云フ地質岩石北緯四十一度二十三分四十八秒東經百四十度四分四十七秒ニ當ル

後志國

太田岬 久遠郡ノ西南ニ位シ太田村ニ屬ス地質岩石北緯四十二度十九分六秒東經百三十九度四十六分四十一秒ニ當ル同村又一岬アリ大鼻ト稱ス又長磯村ニ長磯岬アリ上古丹村ニ小歌岬アリ久遠村ニ稻子岬アリ地質皆岩石ナリ

持田岬 嶋牧郡ノ西端ニシテ原歌村ニ屬ス地質岩石北緯四十二度三十八分十九秒東經百三十九度五十分四十八秒ニ當ル

白糸岬 嶋牧郡原歌村ノ中央ニアリ地質岩石北緯四十二度四十一分九秒東經百三十九度五十三分三十三秒ニ當ル

辨慶岬 壽都郡ノ北端ニシテ政治村ニ屬ス岩石北緯四十
二度五十分十三秒東經百四十度十三分二秒ニ當ル

青苗岬 奥尻郡即奥尻嶋ノ南端ニシテ青苗村ニ屬ス地質
砂北緯四十二度三分四十五秒東經百三十九度二十七分

三十秒ニ當ル又同村ニ一岬アリ群來岬ト稱ス地質岩又
同村ノ東藥師村ニ二岬アリ一ヲ初松前一ヲ大掛石ト稱

ス

稻穂岬 同郡ノ北端ニシテ釣掛村ニ屬ス地質岩石北緯四

十二度十四分東經百三十九度三十四分ニ當ル又同村ノ

東赤石村ニ一岬アリ赤石岬ト稱ス地質岩石

雷電岬 岩内郡ノ西端ニシテ尻別村ニ屬ス地質岩石北緯

四十二度五十五分四十九秒東經百四十度二十五分四十

二秒ニ當ル

神威岬 積丹郡ノ西北端ニアリ海岸ヨリ七町余ニ高十二

丈ノ岩石アリ岬内順風ナレハ岬外ハ逆風ニシテ岬頭僅

ニ五六十間ノ航路アルノミ其他ハ亂石海中ニ碁布ス又

岬ヨリ五百間ヲ阻テ巨巖高十四丈其狀人ノ衣冠シテ拱

スルカ如キアリ土人以テ神ト爲シ神威ト號ス北緯四十

三度二十分二十五秒東經百四十度十九分五十秒

祝津岬 高嶋郡ノ東北端ニシテ地質岩石又同郡ニ二岬アリ

一ヲ茅嶋岬ト稱シ一ヲ魚鬮岬ト稱ス地質皆岩石ナリ

膽振國

磯岐岬 有珠郡ノ南端ニシテ地質岩石ナリ

繪鞆岬 室蘭郡繪鞆村ノ西南端ニシテ地質岩石又同郡ニ

四岬アリ一ヲ老名牛ト云ヒ一ヲ昆布刈ト云ヒ一ヲ祝津ト云ヒ一ヲ尖磯岬ト云フ皆岩石ナリ

天鹽國

雄冬岬 増毛郡ノ西端ニ在リ地質岩石北緯四十三度四十分三十分東經百四十一度十七分三十分ニ當ル

日高國

襟裳岬 幌泉郡ノ南端ニシテ怪石數顆撥立斗出ス東海岸著名ノ岬ナリ北緯四十一度五十五分東經百四十三度十五分二十秒ニ當ル

釧路國

尻羽岬 釧路郡ノ東端ニ在リ

乙調子岬 厚岸郡ノ東南端ニシテ海面ニ平行スル四里余

北見國

野寒岬 宗谷郡ノ西北端ニシテ砂土磐岩ヲ以テ蔽フテ斗出ス北緯四十五度二十六分四十分東經百四十一度三十七分三十秒ニ當ル該岬ハ本道西北ノ盡頭ナリ

宗谷岬 前同郡ノ北端ニ在リ樺太嶋ノノトロ崎ニ對ス北緯四十五度三十一分二十五秒東經百四十一度五十五分ニ當ル

能取岬 網走郡ノ北端ニシテ地質岩石斗出遠淺ナリ北緯四十四度七分三十五秒東經百四十四度十三分ニ當ル

知床岬 斜里郡ノ東北端ニシテ岩石斗出ス北緯四十四度二十一分東經百四十五度十八分三十秒ニ當ル該岬ハ北見根室ノ國界ニアリ東西場所(東地西)ノ分界モ亦此ヨリ

分ル樺太ノ「シレット」國後ノ祖父嶽ト鼎足ノ勢ヲ爲ス
根室國

野付岬 野付郡ノ東端ニシテ國後嶋ニ對ス地質沙北緯四
十三度三十三分東經百四十五度十八分十五秒ニ當ル
納紗布岬 花咲郡ノ南端ニシテ巖岩斗出ス北緯四十三度
二十三分東經百四十五度四十八分三十秒ニ當ル

千嶋國

嶮向岬 國後郡ノ南端泊村ヨリ西南ニ出ル凡三里ニシテ
地質砂

乘戸岬 同郡ノ西端ニシテ地質沙洲

跡江岬 同郡ノ東端ニシテ巖岩斗出ス此他同郡ニ「テチイ
シ」エカボノツ「モイモト」ル「イ」等ノ諸岬アリ皆岩石ナリ

ノツトロ岬 擇捉郡コアリ地質岩石

ノシノツ岬 得撫郡第一嶋ノ東南ニアリ其他「ノブ」ノツ「イ
ハレ」ノ「ユタ」テン「ヌ」ノボ「カ」ントリエカン「ム」エトエン「トモ」
ノ數岬アリ

ロウレン岬 新知郡第一嶋ノ南頭ニアリ其他「アロン」テ「岬
日本岬」ノ二岬アリ

ケレネツセレ岬 占守郡第五嶋ヲチコタシ「ノ南東ニアリ
又第三嶋ニ「ゴ」ロツセリエ「カ」バリエ「ヌ」マエ「アム」ナテ「シ
サ」ツウ「セ」リエトリエチシ「シ」ユエセ「ス」カ「ア」チクシ「カラ」ツ
エチ「ツ」ヤコツ「ロ」バ「ト」カ「等」ノ數岬アリ

以上岬角ノ大略ナリ

○第十五款 暗礁ノ景况

暗礁

猫頭礁 花咲郡 深六尺 瑤瑠村 一ノ大 八南尺 十七町ニ ○ ヲ ヲ ヲ ノ 礁 ニ 同 ア 郡
三ノ尺 深サ 其他 同郡ニ 貝殼 礁野付郡ニ 一 礁 ア リ

網走 礁 三郡 走郡 網走 深ヲ 未詳ル 凡 ○ 宗谷 礁 在 宗谷 同郡 上ニ

得撫 礁 得撫 灣 ○ 鎮 灣 礁 ノ 得撫 西郡 丁鐘 許灣 中 雄 岩 ○ ア ロ ト ン 礁
新 知 郡 二 第 一 島 ア ○ 占 守 礁 ノ 占 守 南 東 郡 角 南 ニ ク 在 リ ル 海 峽

津輕 海峽 ノ 景況 大略 左ノ如シ
○ 第十六 款 海峽 ノ 景況

中里 郡 三 惠 十 山 七 岬 分 東 陸 經 奧 四 北 十 郡 一 尻 度 矢 二 岬 十 二 相 分 望 其 果 端 離 八 同 度 上 島 二 國 十 龜 五 田 度 龍
潮 リ 北 洋 中 ニ 遠 相 ス 遺 ル フ ノ 潮 路 ナ 疑 リ 暫 松 激 前 勢 辨 十 天 倍 崎 ス ヲ 然 リ 坤 凡 位 其 二 幅 流 ヲ 僅
瑤 瑠 海 峽 三 度 二 十 五 分 十 五 秒 東 經 百 四 十 五 度 四 十 七 分 三 十 秒 北 緯 二 十 四 分 四 秒

根室 海峽 十五度二十六分 距根室凡國十根室北緯四千四十度三後十郡八ノ分間 東ヲ 經云 百ヲ 四相

宗谷 海峽 北見 國 宗谷 岬 二 十 五 領 樺 太 能 取 十 岬 五 ノ 度 間 四 ヲ 十 云 二フ
分 東 經 百 四 十 度 二 分 五 秒 北 緯 四 十 度 一 十 分 云 半 津 露 口 人 ア
ハ「ア ニ ヲ」海 峽 ト 稱 ス

ヘイコ 海峽 千島 國 擇 捉 郡 三 十 里 同 國 緯 四 十 度 間 二 ヲ 十 云 五 ヲ 分 相
二 秒 東 經 百 四 十 度 三 十 二 分 二 當 ル 此 峽 成 ハ「タ」ン チ モ イ

擇捉海峽

一得撫里島ヲノ西南ヨリ
四十八度三十五分十二秒
北緯四度五十分對ス凡百十

ボーンレ海峽(稱英)

相知郡第一島ト海得撫里北郡第一島ノ間
五十分八秒東經百五十分三十分
北緯四度四十分六度五十分云

メヤネ海峽(稱英)

新島郡第六島ト北緯島ト間
百五十一度十五分
北緯四十七度四十分三十分云

スレト子ハ海峽(稱英)

新島郡第三島ト第二島ト間
北緯四十七度四十分三十分云
東經百五十二度四十分三十分云

ナブサ海峽(稱英)

新島郡第四島ト第五島ト間
七度五十七分四十五秒東經百五十二度十二分
北緯四十七度四十分三十分云

ゴロニン海峽(稱露)

新島郡第五島ト第六島ト間
北緯四十八度十五分東經百五十三度十一分二秒
凡五里六

クリル海峽(稱露)

占察郡第一島ト第二島ト間
七里北緯五十五度五十二分東經百五十六度三十六分
凡里

小クリル海峽

同郡第一島ト第二島ト間
八度一里未滿此峽北緯五十五度三十分東經百五十六度三十六分
凡里

六度二里未滿

此峽北緯五十五度三十分東經百五十六度三十六分
凡里

フニ南島ヨリ

東部必里又此岩ア過リ深ク凡ニカニ
フニ南島ヨリ東部必里又此岩ア過リ深ク凡ニカニ

フニ南島ヨリ

東部必里又此岩ア過リ深ク凡ニカニ
フニ南島ヨリ東部必里又此岩ア過リ深ク凡ニカニ

第三海峽

占守郡第三島ト北緯島ト間
二此此峽一ニトレツチ海峽ト云フ
凡里

第四海峽

同郡第五島ト第六島ト間
十分東經百五十五度十分
凡里

第五海峽

同郡第五島ト第六島ト間
十分東經百五十五度十分
凡里

十二分東經百五十四度三十八分

第六海峡 同郡第五島「ヲチ」ニ面ス相距離九ノ九里北緯四十九度十七分東經百五十四度四十二分

占守郡第二嶋「アライト」ノ東ヨリ第一嶋占守ノ間相距離十二里海峡アリ峽名ナシ

新知郡第四嶋「ラスコケ」ヨリ西南第三嶋「スレトチハ」ニ對シ相距離凡五里ノ海峡々名ナシ

占守郡第九嶋「ムシル」ノ西南新知郡第六嶋「ライコケ」ニ對シ相距離凡二十三里ノ海峡々名ナシ

占守郡第九嶋「ムシル」ノ東北第八嶋「シヤスコタン」ニ對シ相距離凡十三里ノ海峡々名ナシ

前同郡第八嶋「シヤスコタン」ノ東北第七嶋「エカルマ」ニ對シ

相距ル四里ノ海峡々名ナシ

前同郡第七嶋「エカルマ」ノ東北東第六嶋「カイレムコタン」ニ對シ相距ル凡二十三里ノ海峡々名ナシ

○第十七款 湖沼ノ景況

湖沼ノ稍著名ナルモノヲ舉シレハ左ノ如シ

渡嶋國

大沼ニ龜田郡崎下凡十ノ東北○小沼同所大沼一ノ西半ニヤ其他馬場沼同郡廻浦元沼福島三郡等アリ

膽振國

洞爺湖有珠川ニ合ス湖ニ跨ル嶼四ツ凡十里直徑ハ凡三廻五下流長ヘリ頂ニ滑島ハア周廻八日涼ラ宇ヲ建ツ錫キメ土人之ヲ神水ト云降確沼徑白老十郡二周丁回五里間直○宇津内沼丁勇梯郡一周廻南凡二里十三

湖沼

七支笏湖 千歲二勇里佛二白丁老三郡下流二千餘川凡七東里西三ノ里
北石狩川合ニ入○長都沼直徑一里回七凡餘里○繪沼有珠
詳未○幕西沼廻室未關測郡周○幌密楠沼同有上珠郡○チチツヌシヤ沼
凡山越二郡町廻其他古樟沼淵洞沼並ニ在珠等ナリ

後志國

利別沼凡二郡十郡丁廻○歌嶋沼凡島三牧十郡丁廻

石狩國

漢入洞沼丁札東幌西郡五篠町路南村北ニ屬ニ又町篠路沼又ト云フ周廻三廻里
餘里○樺戸沼廻樺未戸測郡周○瓜洞沼回雨同龍上郡周其他幌向、空知美良、

浦志内、覺止、戸以郡上樺等ノ數沼アリ周回詳ナラス

天邊國

珍苗沼天邊國八郡丁廻南廻北一里

日高國

駒形沼豐荷沼周二廻沼未幌泉郡ニ在リ

十勝國

堀茅根沼リ當周線廻郡凡ノ一東里半ニ在○生花苗沼凡同三郡周回○湧洞沼
凡同四郡周回○長節沼凡同三郡周廻○往蘭洞牛沼回中凡川四郡周○喜門

沼凡同八郡周回等ナリ

釧路國

厚岸沼一又里牡半蠟周沼廻ト未云詳フ或厚岸云郡フノ三南里ニ餘アリ東西三里半南北

○瀧散布沼一同里郡余周廻○聖布沼回同郡上周○阿寒沼十阿餘寒里郡雌廻

二嶽ノ西間一ニ在里半大北沼三ナ餘沼中四小島○白柳沼廻川四上里郡餘周○

アノ東ノ西間一ニ在里半大北沼三ナ餘沼中四小島○白柳沼廻川四上里郡餘周○

摩多周沼小同島郡了周廻神六惠里知餘ト云○常丹沼回厚一岸里郡餘周○千代節沼郡同

一島ヲア雄一忽ト云フ知ト云ヒ○常丹沼回厚一岸里郡餘周○千代節沼郡同

天皇政維新前ニ在テハ林木ノ濫伐ヲ豫防シ或ハ苗木ノ種
植ヲ勸奨スルヲアルモ皆一時ノ命令ニ過スシテ森林ノ保
護ト培養トニ關シ永遠ノ洪益ヲ圖ルニ非ルナリ故ニ林政
未タ立スト云フモ不可ナルナシ開拓使創置後往時濫伐ノ
弊ヲ矯正スルヲ務メ各廳布令スル所ノ禁令條則少シト
セス其一ニテ舉クレハ左ノ如シ

函館縣下ハ舊開拓使函館支廳明治五年(三月)山林保護ニ關
スル條件數項ヲ各村ニ達シ十年五月野火取締規則ヲ設ク
(六月)官林材木拂下及炭燒營業規則ヲ設ク十一年(十月)開拓
使部分木仕付條例ヲ設ク函館支廳管内ニ施行ス其法官地
ヲ貸與シ地味適當ノ木種ヲ栽植シ其幾分ヲ官納シ幾分ヲ
私取セシメ借地ヲ請フモノハ官貸地料ヲ收メス苗木ノ培

養看護ヲ擔當セシメ以テ木種ノ繁殖ヲ圖ル(十月)又令シテ
道路ノ左右五町以内ノ官林ニ於テ伐木ヲ禁シ其他榎松、落
葉松、五葉松、蝦夷松、琪楠^{クニ}、桂、厚朴、胡桃、栓、栗、桐、櫻、檜、楓、樟、月
桂、シウリ、シコロ、等ハ家屋舟車橋梁其他工業ニ必用ノ木材
ナルヲ以テ薪炭用ノ爲メ伐採スルヲ禁ス又白楊^{ハク}、柳、ハ官用
ニ供スルノ外都テ斬伐ヲ禁ス但漁業用等ニテ小枝ヲ伐採
スルハ區務所ニ申立認可ヲ得セシム十二年(三月)林木拂下
規則ヲ更正ス十三年(一月)管内各地ニ山林監吏ヲ配置シ山
林ヲ整理セシム置縣後地理課中ニ山林係ヲ置キ該事務一
切ヲ管掌シ林木拂下規則等多少修正増補アリシカ十六年
(十月)ニ至リ該規則從前ノ布令ヲ廢シ更ニ拂下規則ヲ定ム
(十七年一月)同時山林係ノ各郡ニ派出スルモノ服務心得ヲ

定ム尋テ派出山林係受持區畫ヲ定メ漸次山林ノ養護督察
 ヲ整頓セリ而シテ山林事務ハ置縣後農商務省ノ所管ニ屬
 シ更ニ山林費若干ヲ縣ニ下付セラレ該事務ヲ委托セラレ
 モノナリ故ニ山林係員ハ農商務省ノ職員ニシテ本縣ニ兼
 務スルモノトス札幌根室二縣モ亦同シ

札幌縣下ハ舊開拓使札幌本廳所管ノ時明治四年(正月)札幌
 郡下ニ示諭シ珙楠樹、刺桐、槐、櫻、桂、檜、桑、ヲ伐ルヲ禁シ、尋テ白
 楊ヲ伐ルヲ禁ス六年(六月)道路左右十間狹リニ伐木(電信線
 家屋建築ノ障碍トナルモノヲ除ク)スルヲ禁ス七年(一月)伐
 木規則ヲ定メ材木入用ノ者ハ民事局へ顯出シム八年(九月)
 石狩ノ如キ大河ハ兩岸一里以内ニ於テ伐採スルヲ禁ス十
 年(二月)檜松、落葉松、五葉松、蝦夷松、棋楠樹、玉桂、朴、胡、桃、刺桐、栗、

槐、岩樞、石櫛、山櫻、山桑、樺、等ハ家屋船車橋梁其他需用限ナキ
 良材ナルヲ以テ薪炭用ノ爲メ伐採スルヲ禁ス(四月)山林監
 護條例及林木拂下規則ヲ設ク(後廢改)(八月)葡萄、繡猴桃、許可
 ヲ得テ伐採セシム(十月)山林ヲ分テ官林公林トシ官民共ニ
 公林ニ於テ伐木スルモノト定ム官林ハ札幌郡白川、藤舞、真
 駒内、上下八垂別、野幌、圓山、河川兩傍道路左右公林ハ上下手
 稻、發寒、月寒、輪厚、厚別、島松、是ナリ十一年(十月)開拓使北海道
 山林原野調査假條例ヲ設ク又森林監護假條例ヲ定メ從前
 本支廳示令等此條例ニ抵觸スルモノハ廢止ス(十二月)本廳
 山林監守人規則ヲ定ム十二年(三月)幌内煤田近傍山林ハ鐵
 道其他諸建築用材ノ調査了リ開採ノ順序實地確定迄官用
 ヲ除クノ外伐採ヲ禁ス十三年(十月)開拓使部分木仕付條例

ヲ定メ本廳管内ニ布達ス函館支廳設クル所ノ規則ト大同
 小異ナリ是ヨリ先(六十一年)内務省十一年三月甲第四號布達
 ニ據リ施行シ是ニ至テ條例ヲ定ム十四年(一月)余市郡外四
 郡ニ山林係派出所ヲ設ケ所管ヲ定メ山林一切ノ事務ヲ管
 理セシム置縣後十五年(九月)之ヲ改メ余市岩内有珠留萌浦
 河厚田ノ六派出所トス十六年(七月)山林監守人心得ヲ定メ
 十一年中設クル所ノ看守人規則ヲ廢ス本年四月林區事務
 所例規ヲ定ム此他前後布令少シトセス此ニ省略ニ從フ
 根室縣ハ舊根室支廳ノ所管ノ時明治八年(九月)村落ノ爲メ
 要害トナルヘキ地ノ伐木ヲ禁ス之ヲ伐採スルハ人民ノ健
 康ヲ妨ケ河崖ヲ崩シ水防ヲ妨ケ道路園圃ヲ損スルコトアル
 ナリ以テナリ九年(四月)船舶碇泊所并漁場昆布場等アル地方

へ制札ヲ立テ山林ノ取締ヲ嚴ニス十年(三月)官林ニ於テ狼
 リニ伐木シ且樹木ノ皮ヲ剝脱スルヲ禁ス又人民伐木ニ際
 シ自他紛紜ナカラシメンカ爲メ伐採ノ薪木等へハ刻印又
 ハ捺印セシム(七月)戸長ニ達シ網繩及衣類ニ製スヘキ柳、樺、
 厚子、ノ皮ヲ剝脱スルモノ自今根本ヨリ之ヲ切り萌芽ノ成
 長ニ注意セシム十二年(三月)林木拂下規則ヲ設ク(四月)在來
 ノ樹木ヲ保育シ各自地ニ適スル樹木ヲ培養セシム十三年
(十一月)林木拂下規則ヲ更正ス置縣後十六年(七月)之ヲ更正
 シ尋テ(九月)山林監吏ヲ設置ス又林木拂下統計表調査書式
 ヲ定ム此他前後布令スル所ノモノアリ繁雜ニ亘ルヲ以テ
 省略ニ從フ
 上記載スル禁令條則ハ其重ナルモノ二三ヲ掲クルニ過

キス而シテ置縣後施設スル所ノ方法少異同ナキニ非スト
雖モ之ヲ保護督理シテ山林ノ洪益ヲ圖ルニ至テハ愈周到
精密ヲ期スルカ如シ

山林ハ全道未タ實測ヲ了ラヌ故ニ詳細ノ反別木種木數ヲ
知ルニ由ナシ今僅ニ其一班ヲ掲クレハ左ノ如シ

○渡嶋國

龜田郡官林	七一大八野赤川	青兩取川	ノ在兩岸ニ磯在村ニ龜田村ニ凡
檜澤橋刺桐等澤	ニ部シ川	九百以十流七材町ニ五便反ナリ木種	山毛柳等流ニ材屬ニ便ルナリ木種上流ニ柏在桂川刺桐楓黃梨榎ヲ
同郡山毛柳等	鳩ニスルモ反ノ東凡北七百六南十東一町狭反シニ東畝南ニ	同郡故川流ニ材屬ニ便ルナリ木種上流ニ柏在桂川刺桐楓黃梨榎ヲ	同郡故川流ニ材屬ニ便ルナリ木種上流ニ柏在桂川刺桐楓黃梨榎ヲ
十便ナ反リ余木種	羅漢柏檜桂刺桐等ヲ重トス反別凡七百九	同郡故川流ニ材屬ニ便ルナリ木種上流ニ柏在桂川刺桐楓黃梨榎ヲ	同郡故川流ニ材屬ニ便ルナリ木種上流ニ柏在桂川刺桐楓黃梨榎ヲ
檜山郡官林	ク拾南山北郡五勝短手般村川ニ屬北邊ニモアノ地ヲ形以東テ西運ニ輪長	同郡故川流ニ材屬ニ便ルナリ木種上流ニ柏在桂川刺桐楓黃梨榎ヲ	同郡故川流ニ材屬ニ便ルナリ木種上流ニ柏在桂川刺桐楓黃梨榎ヲ

至冷川凡泊三川里ノ半一岸ハニ倉リ川錢澤ノ兩東ニ至ア長一凡八四里	半川種植桂ニ山ア毛柳又楓一ハ楊月川桂ニ提在樹外刺桐伐等林ナリ又目	茅部郡官林	山一毛柳又楓一ハ楊月川桂ニ提在樹外刺桐伐等林ナリ又目
ノ上流ニ在リ	禁種林七葉十樹ケ五所禁松栗其外前ニ同シハ瀧	上磯郡官林	禁種林七葉十樹ケ五所禁松栗其外前ニ同シハ瀧
六内川一上ハ流戸ニ切在七川凡兩岸ニ在ハ長邊凡五里上木種ニ皆在大リ同凡	木一種ハ萩沙山里毛ヨ裨リ五上禁松栗其外前ニ同シハ瀧	松前郡官林	木一種ハ萩沙山里毛ヨ裨リ五上禁松栗其外前ニ同シハ瀧
一上流福島在川リ	部一川ハ江上長川ノ上流凡三在里外禁伐林リ十長ケ四所	爾志郡官林	部一川ハ江上長川ノ上流凡三在里外禁伐林リ十長ケ四所

此他詳ナラス

○後志國

大樞郡官林 地勢東南ヨリ西北ニ延長ニ當リシテ材西南ヨリ北
 木種榎松山毛榎其外雜樹及別二千八百八十町
 瀬棚郡官林 長クハ「マ」南ヨリ北ニ面シテ短クハ西勢ハ南ヨリ北
 「マ」コハ「マ」地勢イ川南ヨリ北ニ延長ニ當リシテ材西南ヨリ北
 リ「マ」ハ「マ」地勢イ川南ヨリ北ニ延長ニ當リシテ材西南ヨリ北
 界シ「コ」運輸ノラ便ツア「マ」川内ハ「マ」延長ニ當リシテ材西南ヨリ北
 ス故「コ」運輸ノラ便ツア「マ」川内ハ「マ」延長ニ當リシテ材西南ヨリ北
 十樹山毛榎及榎餘ヤチタモ等ナリ及別合計壹萬〇五千百三
 嶋牧郡官林 中一央ハ「マ」流豐レ輪ニス便ナリ四木形山爲毛榎榎豊川
 一葉榎赤目輕揚白等兩ニテ跨別河三百餘六町雖一モ及運二輪十甚四歩
 二便ハ榎赤目輕揚白等兩ニテ跨別河三百餘六町雖一モ及運二輪十甚四歩
 壽都郡官林 北同黒松内ニア連ナ西山ニ越郡クニ南跨ルニ木短種シ水其
 松榎松山毛榎等反松内ニア連ナ西山ニ越郡クニ南跨ルニ木短種シ水其

歌樂郡官林 同ニ郡熱郷川アニ屬ス都東川ニ會スク流南材北極メ短テ中
 榎ナリ木種榎松山毛榎榎等ニシテ及別九百一十町四及五
 磯谷郡官林 ト尻川右ヲ挾「メ」ニ林云アリ該川ニ面シメランナ「イ」
 及別五千六流百材七十町ナリ木種榎松榎赤榎榎等ニシテ

久遠郡官林 白別川兩岸長七里餘木種榎松榎刺桐其他雜
 與尻郡官林 山青苗川岩楓内川揚ノ兩岸合セテ三里半餘木種榎
 此他詳ナラス

○石狩國

札幌官林 札幌郡ニ在リ周回十五里二十六町餘木種榎
 白伊川官林 他同郡上回六里六町五十一町木種刺桐岩楓其
 巖舞官林 同郡ナリ回十二里五町餘木種槐朴桂蝦夷松榎
 初寒官林 同郡樹木榎松榎夷松榎槐朴刺桐周回十一里餘

八垂別官林

同郡樹木大同小異周回六里六町餘

野幌官林

同郡餘樹木榎松、棋楠樹、朴槐ヤチタモ周回十一

圓山官林

同郡樹木榎松、桂、岩楓、蝦夷松、周回十一里餘

厚別官林

同郡十九樹木ヤチタモ、刺桐、榎松、蝦夷松、周回十二

上手稻官林

同郡樹木榎松周回未詳

月寒官林

同郡樹木刺桐、石橋、岩楓、周回九里二十六町餘

湯澤官林

同郡樹木榎松、蝦夷松、刺桐、桂、岩楓、周回十五里

砥石官林

同郡樹木榎松、岩楓、黃檗、槐、周回五里一丁餘

輪厚官林

同郡樹木刺桐、石橋、岩楓、周回未詳

輪津官林

同郡樹木ヤチタモ、黃檗、朴、周回三里八町餘

○膽振國

山越官林

川山兩越郡ニ在八里野田道川兩岸長凡六里遊樂部

榎、樺、刺桐、山毛榎、櫻、胡桃、其外二雜樹川郡中禁伐林六里所アリ、蝦夷松、

洞爺官林

此田未詳樹木玉桂、辨邊官林、同郡榎松、

禮文華官林

同郡榎松、刺桐、周、今稀府官林、有珠郡

右ノ外輪西、千舞、鼈、鹿、別、鷺、別、來馬、登別、嶋松、等ノ官林アリ此

ニ省略ス

以上ノ外札幌根室兩縣下ハ土地廣漠人跡未タ至ラサルノ地アリ斧斤未タ入ラサルノ山アリ森林良材少シトセス今其詳ヲ知ルニ由ナシ故ニ此ニ掲載セス

○

原野若クハ澤地ノ大ナルモノ函館縣下各郡ハ少クシテ札幌根室兩縣下ニ多シ其一ニヲ掲クレハ左ノ如シ

渡嶋國